

2025 年度を振り返って



公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所
2025 年度 第 58 代理事長 金子 遥

基本理念

失敗を恐れる事無く自分を信じ運動に邁進しよう
必死に行くからこそ、その背中は光輝く
人の心を動かし地域を牽引できるリーダーとなろう！
全ては愛するまちのために

スローガン

「勇往邁進」～自身の可能性を信じ地域の笑顔を創り出そう～

【はじめに】

2025 年度は、前年度に卒業者を含め 10 名以上のメンバーが卒業し、これまでに類のない会員数でのスタートとなりました。また、卒業生の多くは経験豊富なメンバーが多くいたことから、これまで通りに運動が展開できるのか不安を抱えながらの始まりでした。しかしながら、メンバー一人ひとり行動は責任感と実行力が重なり合い、課題はあったものの最後まで走りきることができました。運動の中で、多くの関係各所の方々との連携や日本 JC、神奈川ブロック協議会、他 LOM の皆様を始めとした方々より多大なるご協力、ご支援をいただくことができました。なかでも茅ヶ崎青年会議所シニアクラブを始めとする OB・OG の先輩諸氏よりご支援ご協力を賜り多くの事業を展開することができました。

事業を通じて JC の本質や向き合い方について多くのメンバーが大きな学びと経験を積むことができ、奉仕、修練、友情の JC 三信条に触れることができたと感じております。この場をお借りしまして、改めて携わっていただいた多くの方々へ心よりの感謝・御礼を申し上げます。

2025 年度は、スローガンを「勇往邁進」～自身の可能性を信じ地域の笑顔を創り出そう～と掲げ、理事長と言う職務を一年間務めるにあたり、自身の成長より重きを置いていたのは、当該年度を同じ船に乗り互いに切磋琢磨してきたメンバーがどれだけ成長を感じながら、自分に自信を持つことができるかというところに重点を置いておりました。その答えを持っているのは、メンバー一人ひとりであると感じながらも 2026 年度へ続く運動の中で自身

のできる事以上のことに挑戦している姿を見ていると、きっと 2025 年度のことが自身の成長に繋がっているのだと確信しております。それでは 2025 年度を振り返ってまいります。

【各事業について】

1. 会員拡大(地域のリーダー開発委員会、全体)

青年会議所の運動の中で全員に共通していることは、メンバーとして運動できるのは 40 歳までである事です。卒業制度、単年度制を用いる青年会議所は、組織の新陳代謝がよく在籍中に様々な役職や役割を経験できる団体であると感じております。一方で、卒業していくメンバー以上に会員を拡大していかなければ、会員数の減少に繋がってまいります。全国的にも会員数の減少は問題視されていますが、会員拡大に成功している LOM も一定数存在しているのも事実です。数は力であるという言葉があるようにまちづくりを行う上では、多くのメンバーの協力や多様な価値観により新たなイノベーションが巻き起こると思っております。2025 年度は会員拡大に重点を置くと同時に、メンバーが地域を牽引できるリーダーへ昇華していく必要があると感じ、私自身が初めて LOM で委員長を務め自身の価値観を変えることができた委員会名をつけさせていただきました。例会では、夢の実現や挫折からの再挑戦といった事業を営む人であれば、切っても切ることのできない内容の例会を行い 300 名以上の一般参加者の方にお越しいただくとともに、青年会議所が地域にとって、自身の成長にとって必要な組織であることを感じてもらいました。会員拡大において必要となるのが集客と候補者のリスト作りであることを学び事業を実施してまいりました。おかげさまで、目標数には届かなかったものの多くのメンバーに入会していただき、即戦力として多くの事業で活躍してもらうことができました。2025 年度集められたリストを基に今後の会員拡大に繋げより強固な基盤を構築することができたと確信しました。

2. 関係諸団体と連携したまちづくり(全体)

茅ヶ崎 JC の歴史の中で多くの先輩方が卒業された後に地域で活躍しております。また、茅ヶ崎 JC 在籍中にたくさんの関係団体との繋がりを構築していただきました。2025 年度も築いていただいた関係基盤を基に多くの地域事業へと参画いたしました。地域事業の中には、茅ヶ崎 JC に所属していないと参画することのできない経験や学びが多くあります。私自身が大切にしていることの中に、地域との繋がりやそこで生まれた信頼関係は、次代まで連綿と繋がっていくと思っております。茅ヶ崎市内では、茅ヶ崎三大祭りと言われるお祭りをはじめ多くのお祭りやイベントが開催されております。自分たちの事業だけでなく、関係諸団体の事業に積極的に参加することにより、自分たちだけでは得ることのできない学びや地域内での人脈作りにも繋げていくことができるとともに、茅ヶ崎 JC の歴史やこれまで行ってきた事業のスケールメリットを感じてもらうことができたとと思います。なぜなら、参画した多くの事業が茅ヶ崎 JC 発祥や、立ち上げに大きく寄与された方が茅ヶ崎 JC の先輩だったからです。今後も長く続いていく歴史の中で、メンバーがそこに携われたことや、

事業に参加した多くの地域の方々が笑顔になって帰っていく姿をともに経験できたことは、大きな財産となり、今後も関係諸団体と友好的関係を構築できると確信しました。

3. 人財育成事業(地域のリーダー開発委員会)

青年会議所が会員の減少に悩まされていると同時に、会員の在籍年数の短期間化といった課題にも直面しております。会員数の減少により本来積むべき学びの場や経験を十分に踏むことなく、組織の要職や知識の浅い中で役割を引き受けてしまい、自身の思い描いていたJC運動の理想と現実の差に大きな乖離が生じてしまい、運動に参加できなくなってしまうなどの問題も起こっております。そこで、本年は新入会員や入会歴の浅いメンバーだけでなく、全メンバーを対象として、新入会員研修を実施しました。人材の材の文字をあえて財と変えたのも「人は宝である」という歴史的な先人の教えから引用させていただきました。組織において大切にしなければいけないことは、お金や物ではなく「人」であると再認識するとともに、講師にお越しいただいた方々を通じて「人は人でしか磨かれない」・「過去と他人は変えられないが自分と未来は変えられる」と言った、自分自身が変わり成長していくことで組織や携わった仲間の意識変革に繋がるのだと実感しました。全メンバーを対象にしたことにより、現在の自分のステージを再確認すると同時に、相手への接し方や言葉のかけ方などにも変化が出てきたように感じております。なにより、周りのサポートが充実することにより、新たなことに挑戦したいが一步を踏み出すことのできないメンバーにも、大きく背中を押すことに繋がったと思っております。本年の人財育成事業を通して得た学びを自身の成長だけでなく、社業や家庭そして地域へと幅広く活用し自身に携わった多くの方々の意識変革にも繋がっていると確信しております。

4. 地域との結びつきを強くするまちづくり事業(地域経済開発委員会)

まちづくり運動を行う中で我々が一番地域を理解し、地域の中で輝き楽しそうに運動をしていることが大切であると考えております。現在茅ヶ崎市では、コロナ禍の影響以来都心部より多くの住民が転入して生きている状況となっております。一時では、都内よりの人口流入が政令市を除くと全国で一番であるなどと言われた時期もありました。まちのブランドイメージや地域の魅力から人が集まることは良いことである一方で、新旧住民による地域間の格差や価値観のずれが生じている状況もありました。また、多くの自然に囲まれていることから、自然災害にも意識を強く持つ必要がありました。いつ起こるかわからない災害だからこそ地域間の連携や絶対不可欠であると感じております。そこで本年は、地域の魅力や歴史文化を新旧市民の皆様へ改めて感じてもらい、地域の点と点を線で結び大きな絆の輪に繋げていく事業を行いました。新たに開局した茅ヶ崎FMさんや茅ヶ崎市長、地域で活躍されている方にフォーカスを当て、実際にその場に来られない方に対しても当事者意識を持つことができるよう、ラジオ番組を作り電波を通して地域の方々に魅力を発信しました。その後は、実際に被災してしまった場合の避難生活や防災用品、被災時の心のゆりの取り

方などを経験できる事業を開催し、改めて災害の恐ろしさや、メンタルケアなどを実感させていただきました。事業後にも早速実践や他の方に伝えてくれている方も多く見受けられ、本事業を通して参加者を中心とした地域の輪を作れたと確信しております。

5. 湘南4 LOM まちづくり会議(地域経済開発委員会)

これまで長きにわたり広域連携として、平塚、藤沢、茅ヶ崎、寒川と4つの LOM が合同でまちづくりを行い、一つの LOM では達成できない広域的な事業連携や交流を中心に事業が展開されておりました。本年は、その在り方や運営の仕方を再検討し次代に繋いでいくフェーズに入る年であると前年の事業を通して感じておりました。本年は、平塚 JC が主管 LOM として事業構築をはじめ、会議の運営などを行ってまいりました。そこで、取り組んだのは付託金を無くし受益者負担で事業を構築することで、改めて湘南4 LOM の必要性を再確認しようとなり、行かなければいけないから行きたくなる会議体を目指して事業構築をしてまいりました。その中で出た課題ややりたいことを次代に引き継ぐことで新たな形を形成できると感じました。本年を通して得られたことはどこの LOM も同じような課題を感じていることと、身近な LOM で課題を解決に向けて広域的に連携をしていきたいと新たな事業に向けた方向性を導き出すことができました。今後の事業を通じて湘南地域の益々の発展と各 LOM の成長に大きく寄与できるものだと確信しました。

6. 会員同士の絆が深まる交流事業(渉外員会)

我々が青年会議所運動に邁進できるのは、それを支えてくれている家族や仕事の仲間、関係者など多くの方々の協力があるからこそ全力で運動ができていると言うことを忘れてはいけません。また、組織の中で相手を理解し受け入れることで絆が深まり、より強固な地盤が構築できるのだと考えております。そこで、日頃より運動を理解し支えてくれている家族や会社などの関係者に感謝の気持ちを伝えることのできる事業を開催し、うまく伝えることのできない日頃の感謝を伝える場を作れる事業を計画しました。老若男女問わず楽しむことができ、かつ茅ヶ崎を感じることができる「地引網」を企画しました。最近ではあまり参加する方も減り実際には、近くで魚を観たり触ったり、網を引くなどの経験をしたことのない方が増えてきております。そのため、新たな経験をしてもらう趣旨で開催しましたが、残念ながら海の状況と強風の影響で開催することができず苦く悔しい思いをしました。例会の中止はよくある事ではなく、安全面を一番に考え苦渋の決断となりました。そのような状況でも参加を楽しみにしていた方が多かったことから、このような交流は必要であると再認識しました。また、単年度制の青年会議所では当該年度の中頃より次年度に向けた動きも始まり、理事長・次年度理事長はどちらも考えながら、配慮をしながら運動をしなければいけない中でお互いが当該年度を大事にしながらより次年度に邁進できるよう、例会とは別に次年度へ勢いのつく事業を開催いたしました。理事長間だけでなく担当者間のやり取りも含めて、より良い交流の場を創ることができました。本年の交流では、事業の未実施

はあったものの当日のまでのプロセスや、次年度へ積極的になれたメンバーが多いことから十分に計ることができたと確信しております。

7. 各種大会への参画及び出向者支援(渉外委員会)

青年会議所運動には、自分たちの事業だけでなく神奈川ブロック・関東地区・日本・世界と大きなスケールメリットを活かしながら事業を構築しております。そのなかでも各種大会においては、その地域の同じ志を持つ仲間たちが何年も前から計画し本番に向け地域の課題解決と地域の魅力を発信するために切磋琢磨しております。大会に参画するメリットには様々ありますが、個人的にはご当地を感じながら自身の地域との違いや足りない部分を学ぶことや、行った先での出会いなど多様なものがあると感じております。まずはその場に行くことに意味があると考えております。2025年度は大会への参加率も非常に高く、メンバーには各種大会のスケールメリットや参加意義を感じてもらえたのではないかと考えております。また、出向者支援に関して2025年度は神奈川ブロック協議会役員での出向者や日本JC副委員長での出向などその他にも多岐にわたり出向者を排出することができました。出向先に茅ヶ崎JCのメンバーが居ることの安心感は大きなものがあるとともに、出向者報告会では出向から得たものをアウトプットする場を創る事にも繋げられました。そして、2025年の出向を通じて2026年度の出向者を排出することができました。出向者の支援をきっかけとして出向の魅力を多くのメンバーに伝えられたと確信しております。

8. 厳粛かつ法令順守した組織運営(総務広報委員会)

茅ヶ崎JCは公益社団法人の法人格を有しているため、組織内のコンプライアンスやガバナンスと言った順守しなければいけないことも多くあります。これまでも組織の透明性や体外から見た組織の信頼性など幅広く、そして厳しくチェックをしてまいりました。時代の変化とともに、チェック項目にも変化が生じ柔軟な対応が求められております。そこで、2025年度は茅ヶ崎JCの型は守りつつも、時代に即した変化を取り入れてまいりました。例会のドレスコードや会議の運営方法、事業への参画の仕方など工夫をしながら行ってまいりました。結果として単年度の検証になるため、十分な成果を感じる事が難しい箇所もあります。継続的に取り組むことでより良い風が吹くことを確信しております。

9. 広く受信される広報運動(総務広報委員会)

青年会議所は、良い運動を展開しているのに広報が上手ではないなど言っただご指摘をいただくことも多々ありました。広報の重要性は十分に理解していながらも満足いく結果を生むことは難しく、課題となっておりました。広報は、発信することに満足してしまうことが多く一方的な発信に終わってしまうことが多いように感じておりました。そこで2025年度は、相手に広く受信してもらえる広報活動に繋げることができるよう工夫をしました。相手が受け取って初めて広報になる、そのために何をしたら良いのかを分析し、SNS等を使い

ながら発信しました。結果的には知名度の高い講師の方をお迎えした例会だけでなく、その他の例会においても、SNS 等の広報を通して集客に結び付けることができました。今後も粘り強く続けることで、豊かな広報戦略に結び付くと確信しております。

【最後に】

2025 年度の一年間は、今まで青年会議所運動をしているなかで味わうことのない貴重な経験と多くの学びをいただくことのできた一年間であると感じております。改めて 2025 年度の運動にご協力賜りました全ての皆様に心から感謝、御礼申し上げます。私は、理事長を務める年に自分が思う青年会議所の運動をメンバーに伝え、JC をやることを目的にするのではなく、JC を手法として活用できるようにならなければならないと言うことを伝えてまいりました。近年では、JC をやることを目的となり仕事と家庭とのバランスがうまく取れずに、悩み苦しみ結果的に JC から距離を置いてしまう光景を目にする機会も増えておりました。そのため、今一度原点に立ち戻り自分がなぜ青年会議所の門を叩いたのか、どのような自分になることを求めていたのかを考え直す時間を作ってまいりました。我々は一人ではなく多くの方々に支えられて運動をしていくことができしております。運動の本質は人にあると私は思っております。自身の身近な人を笑顔にすることができなければ、自己満足に終わってしまい成長に繋がることはできません。自身の JC 運動に対するワークライフバランスを考えるきっかけ作りができるよう、スローガンの地域の笑顔を作り出そうには、そのような思いが込められております。自分自身も家族との時間を会社での時間をどのように過ごすかを今まで以上に考える時間の多い日々を過ごすことができました。自分が JC を卒業するときには身近な人に笑顔で「お疲れ様」と言ってもらえる JAYCEE でありたいと再確認しました。もう一つ「笑顔」に込めた意味は、地球上には数多くの動物が存在しておりますが、神様より笑うことを許されたのは人間だけなのです。ならば、一人でも多くの笑顔を作り、人を大切にしたいと考えました。これまで以上に家族や会社の仲間と笑い、メンバーと笑うことができた実感できた年だったからこそ、一年間理事長職を全うできたと思っています。

最後になりますが、2025 年度はメンバーをはじめ多くの方々にご協力を賜り誠にありがとうございました。そして、連綿と続いてきた茅ヶ崎 JC 理事長の禪を 2026 年度へ引き継ぐことができました。自分ができなかったことや失敗してしまったことは、2026 年度へ引き継ぎ同じことを繰り返さぬよう、理事長を支えるメンバーの一人として恩送りをしていきたいと思っております。以上、で 2025 年度の事業報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 年間理事長活動記録

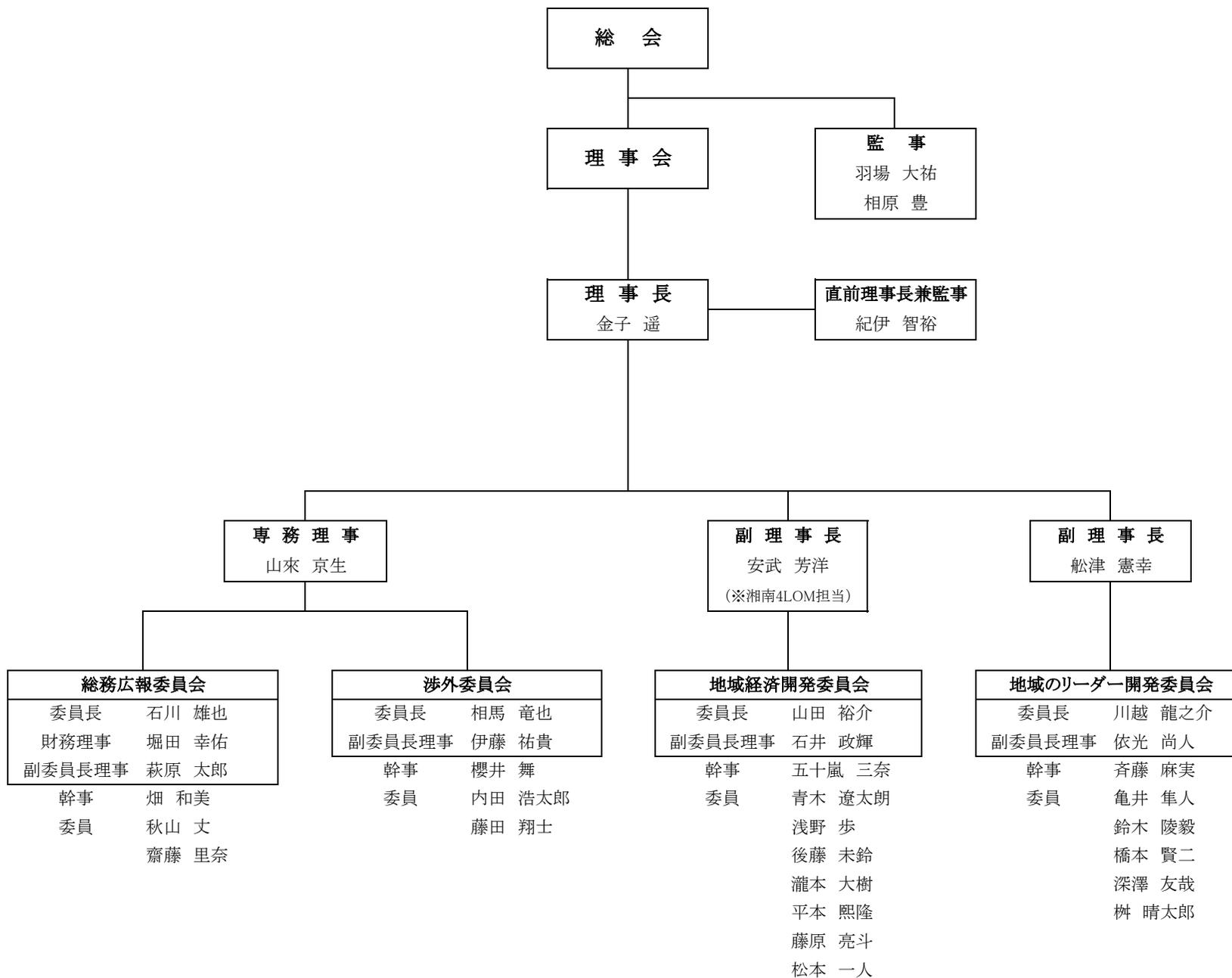
日時	行事	場所	備考
1月5日	小田原JC賀詞交換会	湯元富士屋ホテル	理事長、専務、船津、石川
1月7日	新年式典リハーサル	茅ヶ崎市文化会館	LOM メンバー
1月8日	寒川JC賀詞交換会	寒川神社 参集殿	理事長、専務
1月9日	新年式典リハーサル	茅ヶ崎市文化会館	LOM メンバー
1月9日	茅ヶ崎商工会議所賀詞交換会	コミュニティホール	理事長、専務
1月10日	茅ヶ崎JC新年式典	茅ヶ崎市文化会館	LOM メンバー
1月11日	伊勢原JC賀詞交換会	アマダフォーラム	理事長、専務
1月12日	茅ヶ崎市消防出初式	茅ヶ崎市役所	理事長、専務
1月13日	川崎JC賀詞交換会	日航ホテル	理事長、専務
1月14日	厚木JC賀詞交換会	レンブラントホテル厚木	理事長、専務、相原
1月15日	横須賀JC賀詞交換会	メルキュールホテル横須賀	理事長、専務
1月16日	相模原JC賀詞交換会	杜のホールはしもと	理事長、専務
1月17日	横浜JC賀詞交換会	パシフィコ横浜	理事長、専務
1月19日	平塚JC賀詞交換会	ホテルサンライフガーデン	理事長、専務
1月24日	日本JC第一回理事会各地区委員会協議所会議 関東地区ナイト	京都国際会館	理事長
1月25日	第178回総会全国大会主管契約締結式	京都国際会館	理事長
1月26日	日本JC新年式典	京都国際会館	LOM メンバー
1月31日	神奈川ブロック協議会 CHARM 調印式 第一回委員会協議所会議 第一回全体会議	メルキュールホテル横須賀	理事長、専務
2月3日	市長表敬訪問	茅ヶ崎市役所	理事長、専務、船津、安武
2月9日	CHIGASAKI24FES	茅ヶ崎市文化会館	LOM メンバー
2月12日	役員会議お出迎え	ラスカホール	LOM メンバー
2月14日	第2回理事会	勤労市民会館	理事会構成メンバー
2月15日	日本JC理事会	ZOOM	理事長
2月18日	商工会議所表敬訪問	茅ヶ崎商工会議所	理事長、専務、船津、安武
2月21日	2月例会	ルアンホール	LOM メンバー
2月24日	神奈川ブロック交流事業	GDO	LOM メンバー
2月25日	日本JC会頭公式訪問	Younger Than Yesterday	理事長、専務
2月27日	第三回正副理事長会議	(有) サポート湘南	理事長、専務、船津、安武
2月28日	第2回委員会協議所会議	山北町生涯学習センター	理事長、専務
3月7日	第3回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOM メンバー
3月22日	日本JC総会	東京ビックサイト	理事長
3月27日	3月例会	茅ヶ崎市役所分庁舎	LOM メンバー
3月28日	第4回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
3月29日	第3回委員会協議所会議	小田原	理事長、専務
3月31日	4LOM第一回役員会議	平塚	理事長、専務、安武、山田

4月11日	第4回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
4月14日	4月例会リハーサル	茅ヶ崎市役所分庁舎	LOMメンバー
4月17日	シニアクラブ総務委員会	イザカヤカノウ	理事長、専務、石川
4月19日	大岡越前法要	淨見寺 本堂	理事長
4月20日	大岡越前祭	茅ヶ崎駅周辺	LOMメンバー
4月21日	4LOMまちづくり委員会お出迎え	茅ヶ崎石油	理事長、専務、まち会メンバー
4月22日	次年度選挙管理委員会	茅ヶ崎	選挙管理委員会
4月24日	4月例会	茅ヶ崎文化会館	LOMメンバー
4月25日	第5回正副理事長会議YEG総会	茅ヶ崎商工会議所	理事長、専務
4月26日	第4回会員会議所会議	海老名	理事長、専務
5月1日	理事長会	山梨	理事長
5月9日	第5回理事会	茅ヶ崎市役所分庁舎	LOMメンバー
5月11日	アロハマーケット	茅ヶ崎市営球場	LOMメンバー
5月12日	地域経済開発委員会公開委員会	茅ヶ崎石油	LOMメンバー
5月17日	慈善茶会	鎌倉大仏殿高德院	理事長、専務
5月18日	5月例会	茅ヶ崎市役所前広場	LOMメンバー
5月23日	第6回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
5月25日	湘南祭	サザンビーチ	LOMメンバー
5月26日	次年度理事長立候補日	茅ヶ崎勤労市民会館	選挙管理委員会
5月28日	湘南4LOM合同事業	平塚	LOMメンバー
5月30日	第5回会員会議所会議	藤沢	理事長、専務
5月31日	拡大懇談会	灯	LOMメンバー
6月6日	第6回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
6月7日	サザン芸術花火	サザンビーチ	理事長、専務、齋藤
6月10日	次年度選挙管理委員会	茅ヶ崎勤労市民会館	選挙管理委員会
6月13日～ 15日	ASPAC	モンゴル	理事長、羽場、船津
6月16日	公聴会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
6月17日	臨時理事会	ZOOM	理事会構成メンバー
6月19日	チガエコトーク	茅ヶ崎商工会議所	LOMメンバー
6月20日	第7回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
6月21日	日本理事会	ZOOM	理事長
6月25日	オブザーバー交流会	平塚	理事長、専務
6月27日	スポーツの力委員会懇親会	茅ヶ崎	理事長、専務
6月28日	第6回会員会議所会議	三浦	理事長、専務

7月2日	ちか道清掃	サザンビーチちか道	LOMメンバー
7月4日	第7回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
7月5日	関東地区大会	群馬県桐生市	LOMメンバー
7月11日	藤沢JC60周年記念式典	藤沢会館	理事長、専務
7月17日	7月例会	コミュニティホール	LOMメンバー
7月18日	日本JC理事会	関内	理事長、専務
7月19日	サマーコンファレンス	パシフィコ横浜	LOMメンバー
7月20日	サマーコンファレンス	パシフィコ横浜	理事長
7月21日	浜降祭清掃	サザンビーチ	LOMメンバー
7月24日	第7回委員会議所会議	相模原	理事長、専務
7月25日	第8回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
7月26日	サザンビーチフェスタ	サザンビーチ	LOMメンバー
8月2日	茅ヶ崎JCじゃがいも大会	大森野カントリークラブ	LOMメンバー
8月5日	小田原会議	門松	今年度理事長専務
8月8日	第8回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
8月18日	ハイスクール議会	県庁	理事長、専務
8月23日	8月例会	NINE2	LOMメンバー
8月29日	第9回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
8月30日	シニア交流会	NINE2	LOMメンバー
9月5日～ 6日	ブロック大会 厚木大会	厚木	LOMメンバー
9月8日	湘南4LOM役員会	藤沢	理事長、専務
9月12日	第9回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
9月18日	9月例会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
9月19日	山口杯	レイクウッドゴルフクラブ	LOMメンバー
9月24日	第一回研修事業	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
9月26日	第10回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
9月27日	相模原 周年式典	相模原	理事長、専務
10月6日	第10回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
10月7日	神奈川ブロックじゃがいも大会	シーサイドカントリークラブ	LOMメンバー
10月8日	商工会議所会員大会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
10月9日～ 12日	全国大会 佐賀退会	佐賀	LOMメンバー
10月14日	第二回新入会員研修	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
10月18日	10月例会	うみかぜテラス	LOMメンバー
10月19日	ホノルルミーツ	茅ヶ崎市役所前広場	LOMメンバー
10月24日	第11回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
10月25日	第10回委員会議所会議	鎌倉大仏殿高德院	理事長、専務
10月26日	市民討議会	茅ヶ崎市役所	LOMメンバー
10月27日	湘南4LOM合同懇談会	藤沢クリスタルホテル	LOMメンバー
10月28日	シニアクラブ役員会	湯快爽快	次年度正副
10月29日	11月例会リハーサル	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー

11月13日	第3回次年度理事会	茅ヶ崎石油	次年度理事会構成メンバー
11月14日	第11回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
11月20日	11月例会	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
11月23日	メンバー交流事業	寒川セントラルボウル	LOMメンバー
11月26日	第三回新入会員研修	茅ヶ崎勤労市民会館	LOMメンバー
11月28日	第12回正副理事長会議	(有) サポート湘南	正副
11月29日	ブロック第二回全体会議	横須賀	LOMメンバー
12月3日	政策懇話会	横浜	今次年度理事長専務
12月4日	歴代理事長懇談会	コルティール茅ヶ崎	LOMメンバー
12月9日	12月例会	コルティール茅ヶ崎	LOMメンバー
12月11日	津JC 事業報告会	三重県津市	今次年度理事長専務
12月13日	湘南4LOM役員会議	ZOOM	理事長、専務
12月14日	未来手相図 除幕式	サザンビーチちか道	LOMメンバー
12月18日	最終委員会挨拶回り	茅ヶ崎、藤沢	理事長、専務
12月19日	第12回理事会	茅ヶ崎勤労市民会館	理事会構成メンバー
12月26日	最終監査報告会	うお重	正副、監事
12月26日	第13回正副理事長会議	ZOOM	正副

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所（3名）		
地域グループ スポーツの力委員会	副委員長	羽場 大祐
地域グループ スポーツの力委員会	小幹事	内田 浩太郎
地域グループ スポーツの力委員会	委員	後藤 未鈴
公益社団法人関東地区神奈川ブロック協議会（7名）		
ブロック大会運営委員会	委員長	船津 憲幸
ブロック大会運営委員会	統括幹事	相原 豊
ブロック大会運営委員会	委員	橋本 賢二
かながわの繋がり構築特別委員会	副委員長	安武 芳洋
かながわの繋がり構築特別委員会	小幹事	伊藤 祐貴
かながわの繋がり構築特別委員会	委員	畑 和美
かながわネットワーク推薦会議	委員	山來 京生

(公社) 茅ヶ崎青年会議所2025年行政・関係諸団体 出向先

	出向先	役職	2025年度	備考
1	青色申告宣言都市推進協議会	常任理事	金子 遥 (理事長)	理事長出向
2	茅ヶ崎警察協議会	委員	船津 憲幸 (副理事長)	
3	社会福祉法人 翔の会	評議員	安武 芳洋 (副理事長)	
4	湘南祭実行委員会		山來 京生 (専務理事)	
			相馬 竜也 (渉外委員会委員長)	
			伊藤 祐貴 (渉外委員会副委員長理事)	
			櫻井 舞 (渉外委員会幹事)	
5	アロハ実行委員会		羽場 大祐 (監事)	
6	大岡越前祭実行委員会		相馬 竜也 (渉外委員会委員長)	
7	湘南海岸をきれいにする会		相原 豊 (監事)	
8	ちがさき自転車プラン推進連絡協議会	委員	石川 雄也 (総務広報委員会委員長)	毎年総務が担当
9	レディオ湘南番組審議委員会	委員	安武 芳洋 (副理事長)	
10	茅ヶ崎中海岸浸食対策協議会	委員	船津 憲幸 (副理事長)	
11	茅ヶ崎市市民活動推進委員会	委員	山來 京生 (専務理事)	
12	湘南国際マラソン実行委員会		相原 豊 (監事)	
13	サザンビーチフェスタ実行委員会		山來 京生 (専務理事)	
			相馬 竜也 (渉外委員会委員長)	
			伊藤 祐貴 (渉外委員会副委員長理事)	
			櫻井 舞 (渉外委員会幹事)	
14	茅ヶ崎こころの劇場実行委員会		羽場 大祐 (監事)	
			相原 豊 (監事)	
15	市民討議会実行委員会		石川 雄也 (総務広報委員会委員長)	
			山來 京生 (専務理事)	
16	ちがさき学童保育の会	理事	安武 芳洋 (副理事長)	
17	茅ヶ崎市特別職員報酬等審議会	委員	金子 遥 (理事長)	理事長が引継ぎしている
18	ホノルル市・群姉妹都市交流委員会	委員	羽場 大祐 (監事)	
		委員	船津 憲幸 (副理事長)	
19	一般社団法人茅ヶ崎市観光協会	理事	金子 遥 (理事長)	
	茅ヶ崎商工会議所			
20	情報発信委員会	委員	山來 京生 (専務理事)	
21	ウォーカーブル委員会	委員	安武 芳洋 (副理事長)	
22	組織力強化委員会	委員	相原 豊 (監事)	
23	茅ヶ崎ビジョン委員会	音楽事業担当委員	船津 憲幸 (副理事長)	
24	例会委員会	委員	安武 芳洋 (副理事長)	
25	湘南スタジアム向上委員会	委員	相原 豊 (監事)	

2025 年度 入会者

717 藤原 亮斗 718 鈴木 陵毅 719 依光 尚人 720 瀧本 大樹
721 本多 敬主 722 佐藤 翼 723 山本 鈴菜 724 秋山 丈

2025 年度 卒業会員

五十嵐 三奈 船津 憲幸 相馬 竜也 石井 政輝

2025 年度 褒章

理事長賞：伊藤 祐貴君
委員会賞：総務広報委員会
新人賞：依光 尚人君
飛躍賞：堀田 幸佑君
出向特別賞：船津 憲幸君

2025 年度 例会 100%出席者

金子 遥 船津 憲幸 安武 芳洋 羽場 大祐 山來 京生
石川 雄也 萩原 太郎 秋山 丈 櫻井 舞 石井 政輝
川越 龍之介

理事会報告

2025年度 第1回次年度理事会

日時：2024年09月25日 19:00~22:00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F B 研修室

<審議事項>

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. 理事長所信・スローガン・基本理念・事業計画（案）承認の件 | 理事長 |
| 2. 2025年度委員会配属計画（案）承認の件について | 専務理事 |

<協議事項>

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 2025年度年間スケジュール計画（案）について | 専務理事 |
| 2. 2025年度予算計画（案）について | 財務理事 |

<報告事項>

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. 歴代理事長懇談会について | 専務理事 |
| 2. 各会場予約方法について | 専務理事 |
| 3. LOM 発送スケジュールについて | 専務理事 |
| 4. 理事会運営要綱について | 専務理事 |
| 5. 2025年度理事・監事卓上プレート作成について | 総務広報委員会 |
| 6. 名刺作成について | 総務広報委員会 |
| 7. JC ルーム使用について | 総務広報委員会 |

2025年度 第2回次年度理事会

日時：2024年10月18日 19:00~21:45

場所：茅ヶ崎石油(株)本社 3F 会議室

<協議事項>

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 2025年度年間スケジュール計画（案）について | 専務理事 |
| 2. 2025年度予算計画（案）について | 財務理事 |
| 3. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）について | 各委員会 |
| 総務広報委員会 | |
| 渉外委員会 | |
| 地域経済開発委員会 | |
| 地域のリーダー開発委員会 | |

<報告事項>

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. 2025年度理事・監事卓上プレート作成について | 総務広報委員会 |
| 2. 名刺作成について | 総務広報委員会 |

3. JC ルーム使用について

総務広報委員会

2025 年度 第 3 回次年度理事会

日時：2024 年 11 月 06 日 19：00～21：45

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F B 研修室

<審議事項>

1. 2025 年度予算計画（案）承認の件

財務理事

<協議事項>

1. 2025 年度年間スケジュール計画（案）について
2. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）について

専務理事

各委員会

総務広報委員会

渉外委員会

地域経済開発委員会

地域のリーダー開発委員会

3. 1 月例会第一部事業計画並びに予算（案）について

総務広報委員会

4. 1 月例会第二部事業計画について

総務広報委員会

5. 年間広報計画並びに予算（案）について

総務広報委員会

<報告事項>

1. 歴代理事長懇談会について

総務広報委員会

2025 年度 第 4 回次年度理事会

日時：2024 年 12 月 05 日 19：00～21：45

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

1. 2025 年度委員会配属計画（案）承認の件

専務理事

2. 各委員会基本方針・事業計画・予算（案）承認の件

各委員会

総務広報委員会

渉外委員会

地域経済開発委員会

地域のリーダー開発委員会

<協議事項>

1. 2025 年度年間スケジュール計画（案）について

専務理事

2. 1 月例会第一部事業計画並びに予算（案）について

総務広報委員会

3. 1 月例会第二部事業計画（案）について

総務広報委員会

- | | |
|--|--------------|
| 4.年間広報計画並びに予算（案）について | 総務広報委員会 |
| 5.2月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| <討議事項> | |
| 1.新年会事業計画（案）について | 渉外委員会 |
| <報告事項> | |
| 1.公益社団法人日本青年会議所 2025年度会頭所信について | 専務理事 |
| 2.公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 2025年度会長所信（案）について | 専務理事 |
| 3.公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 2025年度スローガン（案）
基本理念（案）基本方針（案）について | 専務理事 |

2025年度 第5回次年度理事会

日時：2024年12月19日 19：00～21：45

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 1.1月例会第一部事業計画並びに予算（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 2.1月例会第二部事業計画（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3.年間広報計画並びに予算（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| <協議事項> | |
| 1.2025年度年間スケジュール計画（案）について | 専務理事 |
| 2.2月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| <報告事項> | |
| 1.行政各種団体出向について | 専務理事 |
| 2.県内各地会員会議所 2025年度賀詞交換会日程について | 専務理事 |
| 3.新年会開催について | 渉外委員会 |
| 4.2025年度京都会議について | 渉外委員会 |

2025年度 第1回理事会

日時：2025年01月06日 21：00～23：00

場所：茅ヶ崎石油(株)本社 3F 会議室

<審議事項>

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1.2025年度年間スケジュール計画（案）承認の件 | 専務理事 |
| 2.理事長（代表理事）選定（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3.業務執行理事選定（案）承認の件 | 総務広報委員会 |

- | | |
|--|--------------|
| 4.次年度理事会 各種審議議案追認（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 5.会員 田村 耕太郎 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 6.会員 大橋 健作 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 7.会員 三ツ井 嘉寛 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 8.会員 木口 真佑 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 9.会員 伊藤 弘将 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| <協議事項> | |
| 1.3月例会事業計画（案）について | 総務広報委員会 |
| 2.2月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| 3.4月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| <報告事項> | |
| 1.行政各種団体出向について | 専務理事 |
| 2.県内各地会員会議所 2025 年度賀詞交換会日程について | 専務理事 |
| 3.公益社団法人日本青年会議所 第1回理事候補者会議について | 専務理事 |
| 4.公益社団法人日本青年会議所 第2回理事候補者会議について | 専務理事 |
| 5.公益社団法人日本青年会議所 第3回理事候補者会議について | 専務理事 |
| 6.公益社団法人日本青年会議所 第4回理事候補者会議について | 専務理事 |
| 7.公益社団法人日本青年会議所 第5回理事候補者会議について | 専務理事 |
| 8.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議について | 専務理事 |
| 9.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議について | 専務理事 |
| 10.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第3回会員会議所候補者会議について | 専務理事 |
| 11.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第4回会員会議所候補者会議について | 専務理事 |
| 12.関東地区ナイト出向者説明会 交流会開催について | 専務理事 |
| 13.京都会議 ブロックナイトについて | 専務理事 |
| 14. CHIGASAKI 24 FES からの後援名義使用申請について | 専務理事 |
| 15. 2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入案内について | 財務理事 |
| 16.神奈川県への 2025 年度事業計画書の提出について | 財務理事 |
| 17.新年会開催について | 渉外委員会 |
| 18. 2025 年度京都会議について | 渉外委員会 |

2025 年度 第1回臨時理事会

日時：2025 年 01 月 22 日 19：00～22：00

場所：WEB 会議

<審議事項>

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1.地域のリーダー開発委員会基本方針・事業計画・修正予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| 2.2月例会事業計画並びに予算（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 第 2 回理事会

日時：2025 年 02 月 14 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<協議事項>

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1.3月例会事業計画（案）について | 総務広報委員会 |
| 2.4月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| 3.5月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域経済開発委員会 |

<報告事項>

- | | |
|--|------|
| 1.公益社団法人日本青年会議所 第 1 回理事会について | 専務理事 |
| 2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 1 回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4.第 53 回神奈川ブロック大会厚木大会 開催趣意・大会スローガン・ロゴマークについて | 専務理事 |
| 5.2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 6.新規賛助会員入会申込について | 財務理事 |

2025 年度 第 3 回理事会

日時：2025 年 03 月 07 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1.2025 年度補正予算（案）承認の件 | 財務理事 |
| 2.新入会員藤原 亮斗（ふじわら りょうと）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3.新入会員鈴木 陵毅（すずき りょうき）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 4.新入会員依光 尚人（よりみつ なおと）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 5.新入会員瀧本 大樹（たきもと だいき）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |

6.1月例会第一部 事業報告並びに決算（案）承認の件	総務広報委員会
7.1月例会第二部 事業計画（案）承認の件	総務広報委員会
8.3月例会事業計画（案）承認の件	総務広報委員会
9.4月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	地域のリーダー開発委員会
<協議事項>	
1.5月例会事業計画並びに予算（案）について	地域経済開発委員会
2.6月例会事業計画並びに予算（案）について	渉外委員会
<報告事項>	
1.公益社団法人日本青年会議所 第2回理事会について	専務理事
2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第2回会員会議所会議について	専務理事
3.理事長活動記録について	専務理事
4.2025年度正会員年会費及び2024年度特別会員会費納入状況について	財務理事
5.2025年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6.大岡越前祭開催について	渉外委員会
7.新年会開催報告について	渉外委員会
8.京都会議開催報告について	渉外委員会
9.湘南祭2025開催について	渉外委員会

2025年度 第4回理事会

日時：2025年04月11日 19:00～22:00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

1.次年度選挙管理委員会設立（案）承認の件	理事長
2.2025年度年間スケジュール計画日程変更（案）承認の件	専務理事
3.5月例会事業計画及び予算（案）承認の件	地域経済委員会
<協議事項>	
1.6月例会事業計画並びに予算（案）について	渉外委員会
2.7月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
<報告事項>	
1.公益社団法人日本青年会議所 第3回理事会について	専務理事
2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第3回会員会議所会議について	専務理事
3.理事長活動記録について	専務理事
4.2025年度正会員年会費及び2024年度特別会員会費納入状況について	

5. 2025 年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6.新規賛助会員入会申込について	財務理事
7.大岡越前祭について	財務理事
8.湘南祭 2025 開催について	渉外委員会
	渉外委員会

2025 年度 第 5 回理事会

日時：2025 年 05 月 09 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

1. 6 月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	渉外委員会
2. 2 月事業報告並びに決算（案）承認の件	地域のリーダー開発委員会
3. 3 月例会事業報告（案）承認の件	総務広報委員会

<協議事項>

1. 7 月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
2. 8 月例会事業計画並びに予算（案）について	地域のリーダー開発委員会

<報告事項>

1.公益社団法人日本青年会議所 第 4 回理事会について	専務理事
2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 4 回会員会議所会議について	専務理事
3.理事長活動記録について	専務理事
4.県庁立ち入り監査について	専務理事
5.茅ヶ崎 J C ジャがいも大会開催及び実行委員会立ち上げについて	専務理事
6.中間監査実施について	監事
7. 2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について	財務理事
8. 2025 年度賛助会員費納入状況について	財務理事
9.新規賛助会員入会申込について	財務理事
10. 2025 年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
11.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 4 月広報活動について	総務広報委員会
12.湘南祭 2025 開催について	渉外委員会
13. 2025 JCI ASPAC ウランバートル大会について	渉外委員会
14.サザンビーチフェスタ 2025 開催について	渉外委員会
15.2025 年度アロハマーケット参画について	地域経済開発委員会
16.湘南 4LOM まちづくり会議 合同交流事業について	地域経済開発委員会
17.2025 年度 拡大懇談会開催について	地域のリーダー開発委員会

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 18.2025 年度 第 1 回新入会員研修会開催について | 地域のリーダー開発委員会 |
| 19.2025 年度 会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 第 6 回理事会

日時：2025 年 06 月 06 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1.会員 橋本 賢二 君 退会（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 2.新入会員 本田 敬主（ほんだ けいじゅ）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3.新入会員 佐藤 翼（さとう つばさ）君認証（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 4.理事 1 名選任（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 5.3 月例会事業報告（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 6.7 月例会事業計画（案）承認の件 | 総務広報委員会 |

<協議事項>

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1.8 月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域のリーダー開発委員会 |
| 2.9 月例会事業計画（案）について | 総務広報委員会 |

<報告事項>

- | | |
|--|--------------|
| 1.公益社団法人日本青年会議所 第 5 回理事会について | 専務理事 |
| 2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 5 回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4.異業種交流会 in 湘南ナンバー地区 | 専務理事 |
| 5.業務執行理事（専務理事、副理事長）報告について | 専務理事 |
| 6.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 5 月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 7.2025 年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 8.2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 9.2025 年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 10.2025 JCI ASPAC ウランバトル大会について | 渉外委員会 |
| 11.サザンビーチフェスタ 2025 開催について | 渉外委員会 |
| 12.第 73 回関東地区大会上州きりゅう大会開催について | 渉外委員会 |
| 13.サマーコンファレンス 2025 開催及び社団法人津青年会議所との合同交流会について | 渉外委員会 |
| 14.大岡越前祭開催報告について | 渉外委員会 |
| 15.ちか道清掃について | 地域経済開発委員会 |
| 16.会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

17. 2025 年度 拡大懇談会開催について

地域のリーダー開発委員会

2025 年度 第 2 回臨時理事会

日時：2025 年 06 月 17 日 19：00～22：00

場所：WEB 会議

<審議事項>

1. 2023 年度補正予算（案）承認の件
2. 2024 年度補正予算（案）承認の件
3. 理事 1 名辞任（案）承認の件
4. 理事 1 名選任（案）承認の件
5. 7 月例会事業計画（案）承認の件

総務広報委員会

総務広報委員会

総務広報委員会

総務広報委員会

総務広報委員会

<協議事項>

1. 8 月例会事業計画（案）について

地域のリーダー開発委員会

2025 年度 第 3 回臨時理事会

日時：2025 年 06 月 23 日 19：00～21：00

場所：WEB 会議

<審議事項>

1. 7 月例会事業計画（案）承認の件

総務広報委員会

<報告事項>

1. 中間監査実施日変更について

監事

2025 年度 第 7 回理事会

日時：2025 年 07 月 04 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

1. 新入会員 山本 鈴菜（やまもと すずな）君認証（案）承認の件
2. 5 月例会事業報告並びに決算（案）承認の件
3. 8 月例会事業計画（案）承認の件

総務広報委員会

地域経済開発委員会

地域のリーダー開発委員会

<協議事項>

1. 9 月例会事業計画（案）について
2. 10 月例会事業計画並びに予算（案）について

総務広報委員会

地域経済開発委員会

<報告事項>

1. 公益社団法人日本青年会議所 第 6 回理事会について

専務理事

- | | |
|--|---------|
| 2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第6回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025年度6月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 5. 2025年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 6. 2025年度正会員年会費及び2024年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 7. 2025年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 8. 2025年度市民討議会実行委員会について | 総務広報委員会 |
| 9.サザンビーチフェスタ 2025開催について | 渉外委員会 |
| 10. 第73回関東地区大会上州きりゅう大会開催について | 渉外委員会 |
| 11. サマーコンファレンス 2025開催及び社団法人津青年会議所との合同交流会について | 渉外委員会 |

2025年度 第8回理事会

日時：2025年08月08日 19:00～22:00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 4月例会事業計画並びに補正予算（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |
| 2. 4月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |
| 3.第01回研修事業計画（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |
| 4. 9月例会事業計画（案）承認の件 | 総務広報委員会 |

<協議事項>

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1. 10月例会事業計画並びに予算（案）について | 地域経済開発委員会 |
| 2. 11月例会事業計画（案）について | 総務広報委員会 |

<報告事項>

- | | |
|--|---------|
| 1.公益社団法人日本青年会議所第7回理事会について | 専務理事 |
| 2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第7回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4. 2025年度正会員年会費及び2024年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 5. 2025年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 6.新規賛助会員入会申込について | 財務理事 |
| 7.次年度理事選考委員について | 総務広報委員会 |
| 8. 2025年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |

9.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 7 月広報活動について	総務広報委員会
10. 2025 年度市民討議会実行委員会について	総務広報委員会
11. 2025 年度シニアクラブ交流会について	総務広報委員会
12.湘南祭 2025 開催報告について	渉外委員会
13.第 53 回神奈川ブロック大会厚木大会開催について	渉外委員会
14.会員拡大状況について	地域のリーダー開発委員会

2025 年度 第 9 回理事会

日時：2025 年 09 月 12 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

1. 2026 年度理事選任（案）承認の件	監事
2. 2026 年度副理事長・委員長・財務理事指名（案）承認の件	監事
3. 2026 年度監事選任（案）承認の件	監事
4. 2025 年度年間スケジュール計画日程変更（案）承認の件	専務理事
5.新入会員 秋山 丈（あきやま じょう）君認証（案）承認の件	総務広報委員会
6.4 月例会事業報告並びに決算（案）承認の件	地域のリーダー開発委員会
7.7 月例会事業報告（案）承認の件	総務広報委員会
8.10 月例会事業計画並びに予算（案）承認の件	地域経済開発委員会
9.第 02 回研修事業計画（案）承認の件	地域のリーダー開発委員会

<協議事項>

1. 11 月例会事業計画（案）について	総務広報委員会
2. 12 月例会第一部事業計画（案）について	総務広報委員会

<報告事項>

1.公益社団法人日本青年会議所 第 8 回理事会について	専務理事
2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 8 回会員会議所会議について	専務理事
3.理事長活動記録について	専務理事
4. 2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について	財務理事
5. 2025 年度賛助会員費納入状況について	財務理事
6.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 8 月広報活動について	総務広報委員会
7. 2025 年度例会及び委員会低出席者について	総務広報委員会
8. 2025 年度市民討議会実行委員会について	総務広報委員会
9.会員拡大状況について	地域のリーダー開発委員会

2025 年度 第 4 回臨時理事会

日時：2025 年 09 月 18 日 18：00～19：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3 階 B 研修室

<審議事項>

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1. 2026 年度理事選任（案）承認の件 | 監事 |
| 2. 2026 年度副理事長・委員長・財務理事指名（案）承認の件 | 監事 |
| 3. 2026 年度監事選任（案）承認の件 | 監事 |
| 4. 第 02 回研修事業計画（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 第 10 回理事会

日時：2025 年 10 月 06 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 11 月例会事業計画（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 2. 8 月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |

<協議事項>

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 12 月例会第一部事業計画（案）について | 総務広報委員会 |
|-------------------------|---------|

<討議事項>

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 11 月メンバー交流事業（案）について | 渉外委員会 |
|------------------------|-------|

<報告事項>

- | | |
|---|--------------|
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 第 9 回理事会について | 専務理事 |
| 2. 公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 9 回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3. 理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4. 2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 5. 2025 年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 6. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 9 月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 7. 2025 年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 8. 2025 年度市民討議会実行委員会について | 総務広報委員会 |
| 9. 第 74 回全国大会佐賀大会開催について | 渉外委員会 |
| 10. 第 73 回関東地区大会上州きりゅう大会参画について | 渉外委員会 |
| 11. サマーコンファレンス 2025 開催及び社団法人津青年会議所との合同交流会開催について | 渉外委員会 |
| 12. 会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 第 11 回理事会

日時：2025 年 11 月 14 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 12 月例会第一部事業計画（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 2. 第 03 回研修事業計画（案）承認の件 | 地域のリーダー開発委員会 |

<報告事項>

- | | |
|---|--------------|
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 第 9 回理事会について | 専務理事 |
| 2. 公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第 9 回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3. 理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4. 公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 第二回全体会議について | 専務理事 |
| 5. 茅ヶ崎商工会議所 1 号議員選任について | 専務理事 |
| 6. 2025 年度正会員年会費及び 2024 年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 7. 2025 年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 8. 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 10 月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 9. 2025 年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 10. 歴代理事長懇談会について | 総務広報委員会 |
| 11. 11 月メンバー交流事業計画（案）について | 渉外委員会 |
| 12. 未来手想図 2025 除幕式開催について | 渉外委員会 |
| 13. 会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 第 12 回理事会

日時：2025 年 12 月 19 日 19：00～22：00

場所：茅ヶ崎勤労市民会館 3F CD 研修室

<審議事項>

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 2025 年度褒賞受賞者決定（案）承認の件 | 理事長 |
| 2. 9 月例会事業報告（案）承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3. 10 月例会事業報告並びに決算（案）承認の件 | 地域経済開発委員会 |

<報告事項>

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 公益社団法人日本青年会議所 第 10 回理事会について | 専務理事 |
|--------------------------------|------|

- | | |
|---|--------------|
| 2.公益社団法人日本青年会議所関東神奈川ブロック協議会 第10回会員会議所会議について | 専務理事 |
| 3.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 4.公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 第二回全体会議について | 専務理事 |
| 5.茅ヶ崎商工会議所1号議員選任について | 専務理事 |
| 6.2025年度正会員年会費及び2024年度特別会員会費納入状況について | 財務理事 |
| 7.2025年度賛助会員費納入状況について | 財務理事 |
| 8.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所2025年度11月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 9.2025年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |
| 10.歴代理事長懇談会について | 総務広報委員会 |
| 11.11月メンバー交流事業計画(案)について | 渉外委員会 |
| 12.未来手想図2025除幕式開催について | 渉外委員会 |
| 13.会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

2025年度 第13回理事会

日時：2026年01月10日 19:00~20:30

場所：茅ヶ崎石油(株)本社 3F会議室

<審議事項>

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1.2025年度収支決算(案)承認の件 | 財務理事 |
| 2.会員 亀井 隼人(かめい はやと)君除名(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 3.会員 橋本 賢二(はしもと けんじ)君退会(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 4.会員 青木 遼太郎(あおき りょうたろう)君退会(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 5.会員 後藤 未鈴(ごとう みすず)君退会(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 6.会員 深澤 友哉(ふかさわ ともや)君退会(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 7.11月例会事業報告(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 8.12月例会第一部事業報告(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 9.12月例会第二部事業報告(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 10.年間広報計画事業報告並びに決算(案)承認の件 | 総務広報委員会 |
| 11.6月例会中止報告並びに決算(案)承認の件 | 渉外委員会 |

<報告事項>

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1.公益社団法人日本青年会議所 第11回理事会について | 専務理事 |
| 2.理事長活動記録について | 専務理事 |
| 3.2025年度例会及び委員会低出席者について | 総務広報委員会 |

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 4.公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2025 年度 12 月広報活動について | 総務広報委員会 |
| 5.歴代理事長懇談会開催報告 | 総務広報委員会 |
| 6.11 月メンバー交流事業開催について | 渉外委員会 |
| 7.2025 年度研修事業について | 渉外委員会 |
| 8.会員拡大状況について | 地域のリーダー開発委員会 |

2025 年度 例会記録

月日	内容	担当委員会	出席率
1月7日	1月例会第一部 新年式典 1月例会第二部 賀詞交歓会	総務広報委員会	80%
2月21日	2月例会 Chigasaki BizLink ～新たな出会いが未来を創る～	地域のリーダー開発委員会	77%
3月27日	3月例会 定時総会	総務広報委員会	74%
4月24日	4月例会 西野亮廣講演会 in 茅ヶ崎市	地域のリーダー開発委員会	76%
5月18日	5月例会 茅ヶ崎 JC×茅ヶ崎 FM! ちがさきカルチャーウェブ ～つながる想い、広がる未来～	地域経済開発委員会	59%
6月22日	6月例会 感謝祭！今日は楽しんでくだ 祭！！	渉外委員会	中止
7月17日	7月例会 次年度理事長候補者所信表明 及び臨時総会	総務広報委員会	70%
8月23日	8月例会 THE CHALLENGE ～入江慎也が語る再起力～	地域のリーダー開発委員会	68%
9月18日	9月例会 出向者報告会並びに 次年度理事・監事報告	総務広報委員会	63%
10月18日	10月例会 ジモト防災大作戦！ ～地域の輪でまもる命～	地域経済開発委員会	55%
11月20日	11月例会 定時総会及び事業報告会	総務広報委員会	55%
12月11日	12月例会 卒業式第一部 12月例会 卒業式第二部	総務広報委員会	71%

2025年度 例会出席表

		回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	例会開催数	出席回数	出席率	
		日付	1月7日	2月21日	3月27日	4月24日	5月18日	6月22日	7月17日	8月23日	9月18日	10月18日	11月20日	12月11日	12月11日				
		担当委員会	総務	地域のリーダ―	総務	地域のリーダ―	地域経済	渉外	総務	地域のリーダ―	総務	地域経済	総務	総務	総務				
名称	1月例会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会中止	7月例会	8月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月例会第一部	12月例会第二部						
正副・監事	理事長	金子 遥	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	直前理事長	紀伊 智裕	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	12	8	66.7%	
	副理事長	船津 憲幸	○	○	○	○	A		A	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
		坂武 芳洋	○	○	○	○	○		A	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	監事	羽場 大祐	○	A	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
		相原 豊	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	12	11	91.7%	
	専務理事	山來 京生	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	計	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	7	7					
	率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	100.0%	100.0%					
総務広報委員会	委員長	石川 雄也	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	財務理事	堀田 幸佑	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%	
	副委員長理事	坂原 太郎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	幹事	佐藤 和英	○	○	○	○	×		○	×	×	×	×	○	○	12	8	66.7%	
	委員	菅藤 里奈	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	12	11	91.7%	
		秋山 丈	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	5	5	100.0%	
		計	6	6	6	6	3	5	6	4	6	6	6	6	6				
	率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%					
渉外委員会	委員長	田馬 竜也	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	○	12	10	83.3%	
	副委員長理事	伊藤 祐貴	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%	
	幹事	櫻井 舞	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	委員	内田 浩太郎	○	A	○	○	×		×	○	○	×	×	×	○	12	8	66.7%	
		藤田 翔士	○	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	12	3	25.0%	
		本田 敬主	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	○	7	5	71.4%	
		計	5	4	4	5	2	5	3	4	3	2	3	4	4				
	率	100.0%	80.0%	80.0%	100.0%	40.0%	100.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	60.0%	80.0%	80.0%					
地域経済開発委員会	委員長	山田 裕介	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	12	11	91.7%	
	副委員長理事	石井 政輝	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%	
	幹事	五十嵐 三奈	×	×	×	○	○		○	○	×	○	○	○	○	12	8	66.7%	
	委員	青木 遼太郎	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%	
		浅野 歩	○	○	×	×	○		×	×	×	○	×	○	○	12	6	50.0%	
		坂藤 未鈴	○	A	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	11	91.7%	
		瀧本 大樹	○	○	○	×	×		×	×	×	×	×	○	○	12	4	33.3%	
		平本 照隆	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%	
		藤原 亮斗	○	○	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	2	16.7%	
		松本 一人	○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	×	×	12	7	58.3%	
		計	5	5	5	5	6	8	5	4	4	5	3	6	6				
		率	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	80.0%	60.0%	40.0%	40.0%	60.0%	30.0%	60.0%	60.0%				
	地域のリーダ―開発委員会	委員長	川越 龍之介	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	12	12	100.0%
		副委員長理事	佐光 尚人	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	12	9	75.0%
幹事		青藤 麻美	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%	
委員		亀井 崇人	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%	
		鈴木 隆毅	○	○	○	×	○		○	○	×	×	×	×	×	12	5	41.7%	
		佐藤 翼	○	○	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	7	5	71.4%	
		深澤 友哉	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	12	0	0.0%	
		梶 晴太郎	○	○	○	○	○		○	○	×	○	×	×	×	12	9	75.0%	
		山本 鈴葉	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	12	5	41.7%	
		計	2	2	4	4	2	4	5	3	3	2	3	3					
	率	25.0%	25.0%	60.0%	60.0%	25.0%	50.0%	65.0%	62.5%	37.5%	37.5%	25.0%	37.5%	37.5%					
会員数		30	30	34	34	34	36	37	37	38	38	38	38	38					

総務広報委員会 出席表

役職	名前	次年度第01回	次年度第02回	次年度第03回	次年度第04回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回	実施回数	出席回数	出席率	
		10/8	10/31	12/12	中止	1/16	2/7	3/19	4/30	5/14	6/26	7/10	7/28	8/24	9/2	10/29	12/18				
委員長	石川 雄也	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	15	100%	
副委員長理事	萩原 太郎	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	14	93%	
財務理事	堀田 幸佑	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	15	13	87%	
幹事	畑 和美	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	15	12	80%	
委員	齋藤 里奈			○		○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	13	11	85%	
委員	秋山 丈															○	○	2	2	100%	
合計人数		4	4	5	0	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			73	
出席者人数		4	4	5	0	4	4	4	4	4	5	4	4	4	5	5	5	合計			65
出席率		100%	100%	100%		80%	80%	80%	80%	80%	100%	80%	80%	80%	100%	100%	100%			89%	

渉外委員会 出席表

役職	名前	次年度第01回	次年度第02回	次年度第03回	次年度第04回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回	実施回数	出席回数	出席率
		10/8	11/13	12/16	12/27	1/29	2/7	4/1	5/1	5/23	6/20	7/25	8/27	9/17	10/15	11/18	12/18			
委員長	相馬 竜也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	16	100%
副委員長理事	伊藤 祐貴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	16	100%
幹事	櫻井 舞	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	16	13	81%
委員	内田 浩太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	16	14	88%
委員	藤田 翔士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	16	14	88%
委員	本田 敬主											×	×	○	×	×	○	6	2	33%
合計人数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	合計	86	
出席者人数		5	5	5	5	5	5	5	5	3	4	4	4	6	4	4	6		75	
出席率		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	60%	80%	67%	67%	100%	67%	67%	100%		87%	

地域経済開発委員会 出席表

役職	名前	次年度 第01回	次年度 第02回	次年度 第03回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回	実施回数	出席回数	出席率
		10/8	11/11	12/26	1/28	2/18	4/2	4/17	5/18	6/16	7/14	8/20	9/26	10/8	12/1	12/18			
委員長	山田 裕介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	15	100%
副委員長理事	石井 政輝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	15	100%
幹事	五十嵐 三奈	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	15	100%
委員	青木 遼太郎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	15	0	0%
委員	浅野 歩	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	15	8	53%
委員	後藤 未鈴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	15	14	93%
委員	瀧本 大樹						○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	10	9	90%
委員	平本 照隆	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	15	0	0%
委員	藤原亮斗						○	A	×	×	×	×	×	×	×	×	10	2	20%
委員	松本 一人	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	15	4	27%
合計人数		8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	合計	140	
出席者人数		6	5	5	4	4	7	7	7	5	5	4	5	6	6	6		82	
出席率		75%	63%	63%	50%	50%	70%	70%	70%	50%	50%	40%	50%	60%	60%	60%		59%	

地域のリーダー開発委員会 出席表

役職	名前	次年度第01回	次年度第02回	次年度第03回	次年度第04回	第01回	第02回	第03回	第04回	第05回	第06回	第07回	第08回	第09回	第10回	第11回	第12回	実施回数	出席回数	出席率	
		10/8	11/11	12/29	1/28	1/18	3/11	4/10	5/8	6/24	7/8	7/14	7/25	8/14	9/10	11/15	12/18				
委員長	川越 龍之介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	16	100%	
副委員長理事	依光 尚人						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	11	100%	
幹事	斉藤 麻実	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	4	25%	
委員	亀井 隼人	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	0	0%	
委員	深澤 友哉	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	0	0%	
委員	榭 晴太郎	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	16	1	6%	
委員	鈴木 陵毅						○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	11	8	73%	
委員	橋本 賢二	○	○	○	○	○	○	○	○									8	8	100%	
委員	佐藤 翼									○	○	○	○	○	○	○	○	8	8	100%	
委員	山本 鈴菜										○	○	○	○	○	○	○	7	7	100%	
合計人数		6	6	6	6	6	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9			125	
出席者人数		3	3	3	3	2	4	5	3	4	5	5	5	4	5	4	5	合計			63
出席率		50%	50%	50%	50%	33%	50%	63%	38%	50%	56%	56%	56%	44%	56%	44%	56%			50%	

副理事長報告

副理事長 安武芳洋

本年は、金子理事長の掲げる『勇往邁進』～自身の可能性を信じ地域の笑顔を創り出そう～のスローガンのもと、副理事長として地域経済開発委員会の担当をさせていただきました。委員会の担いとしては主に「災害対策」と「地域コミュニティの強化」であり、このキーワードもとに、どう事業を形にしていくかということで、山田委員長やスタッフをはじめとする委員会メンバーが1年間常に試行錯誤を行い事業を形成して頂きました。私自身は委員会を陰ながらサポートする立場でありましたが、山田委員長のリーダーシップは目を見張るものがあり、私が委員会の事業に意見をするとすることはほとんどなかったのではないかと振り返っております。しかし、その中でも幾度か苦勞をしている場面も拝見しました。特に5月と10月に行った例会に関しては、メンバー動員と一般来場者の集客に大変苦戦を強いられておりました。事業内容がどんなによくとも、その魅力をアウトプットできなければ共感、共有して頂くことは出来ません。この委員会の事業だけでなく、これから生み出される様々な事業において、目標とする参加者数を達成するためにも、LOM全体が一丸となり、全ての事業に関わっていく必要があることを改めて痛感いたしました。

また、この経験は私の中でも大きく心境を改める1年となりました。今までは自分の関われる範囲を勝手に小さくしておりましたが、来年以降はこの経験と学びを糧に、LOM全体が一丸となり、2026年の羽場理事長を全力でサポートできるように尽力していきたいと考えております。2025年度関わっていただいたすべての皆様に感謝をするとともに、機会の提供をしていただいた金子理事長に心から御礼申し上げます。

1年間ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長 船津 憲幸

2025 年度、金子理事長が掲げたスローガン「勇往邁進」のもと、拡大および研修を担う委員会の担当副理事長を務めさせていただきました。

本年度は神奈川ブロック協議会の役員としての出向も重なり、担当委員会には時間的にも精神的にも十分に寄り添えず、迷惑をかけてしまった一年であったと感じています。

それでも、私の立場や状況を理解し、前を向いて委員会を牽引してくれた川越委員長、そして新たな仲間を迎え入れながら自分たちの委員会を自分たちの力で盛り上げ、成長していくメンバーの姿には、何度も心を動かされました。特に、新入会員が堂々と意見を述べ、役割を果たしていく姿は目を見張るものがあり、「もう任せて大丈夫だ」と心から思えた一年でした。

副理事長として全てを支え切れたとは言えませんが、この一年で確かに組織は前に進み、次の世代へとバトンが渡されたと感じています。

金子理事長をはじめ、川越委員長、委員会メンバー、そして共に歩んだすべての仲間へ感謝を申し上げ、副理事長報告とさせていただきます。

監事報告

監事 羽場 大祐

監事 相原 豊

2025年度の茅ヶ崎青年会議所は、これまでの歩みを大切にしながらも、組織として大きな転換点に立つ一年であったと感じております。我々監事は、組織運営および事業活動について、客観的な視点から確認を行いました。

まず組織運営についてです。在籍メンバー数の減少やメンバー一人ひとりを取り巻く生活環境は大きく変化しております。しかしながら、委員会構成や事業規模、年間スケジュール等においては、かつて多くのメンバーが在籍していた時代の運営方法を踏襲している部分が見受けられました。その結果、限られた人数の中で役割が集中し、精神的・時間的な負担が一部のメンバーに偏ってしまっているのではないかと感じております。これは財政面のみならず、次代を担うメンバーの成長機会や、青年会議所活動へのモチベーションにも影響を及ぼしかねない重要な課題であると考えます。一方で、こうした状況は「変革の好機」でもあります。これまで当たり前としてきた組織の在り方や事業の目的を改めて見直し、今の規模に合った運営、持続可能で無理のない体制へと移行していくことが、今後の茅ヶ崎青年会議所の発展には不可欠です。正副経験者やベテランメンバーが培ってきた知見と、若いメンバーの柔軟な発想を掛け合わせることで、新しい茅ヶ崎青年会議所の形が見えてくるのではないのでしょうか。

最後になりますが、金子理事長をはじめ、2025年度を支えてこられたすべてのメンバーの皆様にご心より敬意を表します。本年度に積み重ねられた経験と課題意識が、次年度以降の茅ヶ崎青年会議所のさらなる成長につながることを願い、監事報告とさせていただきます。

総務広報委員会

委員長 石川 雄也
財務理事 堀田 幸佑
副委員長理事 萩原 太郎

スローガン

「不言実行」

事業内容・事業報告

1. 全体事業への参画

年間を通して、LOM 事業全般、各種大会・地域事業などへの参画を行いました。

2. 1月例会（新年式典・賀詞交歓会）2025年01月10日（金）

テーマ：2025年度の新たなスローガンと組織体制を関係諸団体及び行政に向けて発信を行い、LOMの運動方針への理解を地域で広める。

内容：本事業は現地開催し、多くの皆様にご来場いただき2025年度のスローガンやLOMの方針をお伝えすることができました。そして、本年も引き続き姉妹LOMでもあります津青年会議所からも多くのメンバーの皆様が式典にご参加いただくことができ、強い絆を実感することができました。式典当日も大きな問題もなく、スムーズに進行することができたことはリハーサルを現地で2回行い、注意すべき点やこうしたほうがいいのではないかと意見を出し合いブラッシュアップすることができたからだと考えます。自身の役割を全うしていただくことができメンバーのみなで成功に導けたものと感じます。また、5年ぶりに賀詞交歓会を開催し、多くの来場者の方との交流を図ることができました。シニアクラブ会員である先輩方からは賀詞交歓会はやった方がいいと前向きなご意見を頂くことができ、今後も継続して開催していく事が望ましいと考えられます。しかし、LOMとしてもメンバーが減少している中で、新年式典からの賀詞交歓会はかなりの負担が生じることは避けられません。メンバー全員で行う意思疎通をしっかりと図りより良いものにしていく事が重要だと感じました。

3. 3月例会定時総会 2026年03月27日（木）

テーマ：組織運営の円滑化と持続的な成長を実現するために、決算報告や2025年度の前算の決定に参加することで組織の一員としての自覚を持つこと。

内 容：第一部として 2024 年度の事業と決算報告の承認、2025 年度予算の承認を総会において決議を行いました。電子的方法の委任状の提出が可能となり委任状提出者は 93%となり総会に必要な議決権を事前に集められたことは良かったことです。しかし、本人出席が 76%と 9 名が出席できない状況であり、総会での議決権行使に対する意識の問題は解決には至りませんでした。しかし、事前配布した資料をしっかりと確認して頂いていたことにより、満場一致で決議することが出来ました。また、第二部ではマンダラチャートを行い、自身の目標や課題を可視化し、共有することで価値観の違いや新たな気づきを得る機会となりました。

4. 7 月例会（次年度理事長候補者所信表明及び臨時総会）2025 年 07 月 17 日（木）

テーマ：次年度理事長候補者が想い描く 2026 年度の組織体制や活動に対する想いを発信し、正会員の皆さまに組織運営や活動に理解をいただき共感することで、2026 年度への協力関係を構築する。

内 容：羽場次年度理事長候補者による所信表明を行い、2026 年度への組織体制や目指すビジョンなど、そこに至る熱い想いをメンバーへ強く訴えかけました。また、3 月に神奈川県庁による立ち入り検査に伴い、2023 年度修正決算並びに 2024 年度修正決算について決議を図りました。また、理事 1 名辞任に伴い新しい理事 1 名選任についてメンバーの皆様から承認を頂きました。しかし、決算資料の数字が見えづらいとの意見があり、数字だけの決算書をメンバーへ回覧するには、変更点の色を変える事や、要点のみの説明で情報を散漫させない工夫が必要でした。さらに、ドアの開閉音など些細な設えにミスが出たことから、設営と運営どちらも細部まで拘ることが重要だと感じました。

5. シニアクラブ交流会 2025 年 08 月 30 日（土）

テーマ：先輩諸氏との貴重な交流の機会への参加

内 容：現役メンバーとシニアクラブの先輩諸氏が 1 年に 1 度交流する貴重な機会であり、これまで先輩方が積み上げてきた歴史や経験を現役世代に継承していくため、シニアクラブ例会に参加させていただきました。多くのメンバーと参加させていただき、シニアクラブの先輩方とも開催までに内容の打ち合わせなどを行い密な時間を過ごすことが出来ました。また、入会歴の浅いメンバーにとっても初めてお目にかかる先輩方と交流することで、多くの学びをご教授いただきました。しかし、当日配布する資料の失念しており理事長に謝罪させてしまったことは本当に反省しております。ここでは、必ず中間報告として事業の報告と新入会員の紹介を行うためそれらをまとめた資料が必要になり

ます。同じミスが出ないようにしっかりと引継ぎを実施します。

6. 9月例会（出向者報告会）2025年09月18日（木）

テーマ：我々青年会議所には出向という機会がある中、在籍年数の短期化から、出向について理解するメンバーが少なく、一步を踏み出すことに躊躇している現状があり、しっかりと理解する必要があります。また、単年度制である青年会議所では、自身が今後のJC活動を推進していく上で次年度体制への理解を深める機会が必要です。

内 容：本例会では出向者報告会ということで、実際に出向して活躍されている方々にパネルディスカッションにて活動報告を致しました。スライドを事前に確認し写真を多用することで視覚的に分かり易くする工夫を実施しスライドの出来栄えは非常に良かったと感じました。しかし、タイムキーパーを設置しておらず、最後の委員会では時間が不足し簡潔にまとめて頂く流れになってしまいました。出向者は伝える内容は沢山あることから、伝える内容の精査と時間管理の徹底が必要です。また、次年度理事・監事報告がありましたが当日3名の役員欠席が出てしまいました。正会員の皆様に初お披露目する機会となることから、理事会構成メンバーの出席には拘りたいところです。前以ての日程ロックは勿論のこと、日程が決まり次第すぐに連絡などでしっかりと参加していただく旨を伝え参加率に拘ることが重要だと考えられます。

7. 11月例会 定時総会 2025年11月20日

テーマ：当該年度と次年度をつなぐ定時総会の開催は、単年度制を採用している青年会議所において、全会員が議決権を行使する重要な機会となります。そのためには、全会員に議題を徹底して周知し、十分な理解を得た上で定時総会を開催します。

内 容：定時総会では、シニアクラブ会長である桐山先輩のご出席のもと、2026年度の理事・監事の選任並びに事業計画や予算について正会員の皆様から決議を図りました。また、第二部では各委員会の事業報告会を実施致しました。終盤での委員会報告の実施は途中からの新入会員や欠席者の向けて実施しましたが、当日来れなかった方に向けてスライドの共有を行いました。しかし、スライドだけでは伝わらない内容などもあったため、動画の撮影など出席していなくても共有できる工夫が必要と感じました。

8. 歴代理事長懇談会 2025年12月04日（水）

内 容：毎年開催されている歴代理事長懇談会をコルティール茅ヶ崎の会場にて開催しました。多くの歴代理事長の皆様と交流することができ、これまで培われ

た経験や活動など内容の濃い時間を過ごすことができました。歴代理事長しか参加できない懇談会ということで茅ヶ崎 JC の歴史の深さも感じる事ができました。次年度総務委員会が中心で行う歴代理事長懇談会ではサポートするのがメインの当年総務の役割であり少人数の中で実施する上では協力体制が必要不可欠であると感じました。

9. 12月例会 卒業式 第一部 2025年12月09日(火)

テーマ：12月例会 第一部 ～卒業式～

内 容：本年度は LOM を牽引してくださった4名の卒業生の皆さまへ感謝の気持ちを込め、コルティール茅ヶ崎のチャペルにて第一部 卒業式を開催いたしました。これまでまちのため、LOM のために多大なる貢献をしてくださった卒業生に感謝をするとともに新たな門出を祝福し、JC には限られた時間の中でしか活動できないことを今一度感じていただき、卒業生のより良いまちにしたいという、まちづくり運動への想いを受け継いでいく貴重な時間となりました。12月例会では例会として最後の理事長挨拶や卒業生のスピーチなど想いのこもった挨拶が盛りだくさんとなり、時間管理が本当に難しいです。会場予算や人数を考慮し、卒業生が楽しめることだけを考慮して構築してもいいと思いました。コルティール茅ヶ崎は雰囲気は良いのですが今の予算組だと中々厳しい財政面も考慮する必要があります。その次に控える第二部とのバランスもあるため、全委員会を巻き込む仕組みづくりを意識して実施するとより良い事業になると感じました。

10. 12月例会 卒業式 第二部 2025年12月09日(火)

テーマ：12月例会 第二部 ～卒業式～

内 容：本年度は第二部も総務広報委員会が設けました。サプライズ演出やスペシャルゲストなど総じて良い演出を企画出来ましたが、運営面では開始が遅れてしまったことなど細かいミスはありました。第一部で総務広報総力を使ってしまい第二部の切替が遅くなってしまったことが要因と考えられます。第一部同様ですが、全委員会での実施を意識すること、細かい役割でのしっかりと振り分け総括としての動きを行うことで対外が多く参加する事業でのイレギュラー対応が可能になると感じました。アトラクションに関しては忙しい中、時間を作り練習をしたバンド演奏では卒業生に向けてやりることができました。1年を締めくくる総務としての最後の例会では LOM の集大成として実施するプレッシャーは重たいですが、その分達成感は十分に感じる事が出来ました。

11. 財務運営及びコンプライアンスの管理

内 容：本年度は県庁立入検査に伴い、公益社団法人として存続していくのか、一般社団法人へ変更するのかを会議する立入検査対策会議を急遽実施しました。全 6 回の開催にて公益社団法人としての継続は難しいとの判断を下し、一般化に向けた準備期間に入った年でもありました。また、1 年間を通して LOM 運営における適切なお金の管理を主に行い、皆様の会費が適正に使われるように、また公益社団法人として、茅ヶ崎に好影響が与えられる公益性のある例会・事業を行うために透明性・公正性の高い財務運営に取り組んで参りました。その他にも新年式典、総会のための資料作成、会員名簿作成、日々の議案における財務チェック等も委員会メンバーと協力し実施いたしました。

12. 広報活動・HP の開設

内 容：1 年間を通して広報活動を実施しました。本年度は広報理事が不在の中での広報活動を行いました。各 SNS、HP の投稿に関して投稿は行いましたが、投稿時期が適正ではなかったことは本当に悔しい思いがあります。広報の担いはとても広く、各委員会や事業を含めても全体を網羅する必要があります。少ない委員メンバーで数多くの事業をこなしていくには、広報が後回しになっていたことは間違いありません。2026 年度は広報理事が在籍しているため、広報に関しては責任もって運営をお願いしたいと思います。役割の明確化、投稿スケジュールの共有を行うことで少人数でも実施できることはできたと考えられるため、自身の力不足を感じました。投稿内容も対象が誰なのかを明確にした投稿が必要であると考え、2026 年度へ引継ぎを実施します。

感 想

2 年目委員長での総務広報委員会の委員長でしたが、1 年間振り返ると常に議案に追われてた 1 年間でした。総務としての役割は議案以外でも組織としての運営面や各委員会のサポートなど膨大にありました。その中でも毎年行っているからこそ、比較対象があることは日々プレッシャーを感じたことは間違いありません。だからこそ、細部まで意識すること、総務としての立ち振る舞いは本当にいい経験になりました。今の LOM は入会間もなく理事会構成メンバーになることは珍しくありません。我々は理事会の会議を中心に運営されている組織であることから、理事会の品質は本当に意識しました。厳しいだけが理事会ではないですが、いい緊張感はず必要であり、限られた時間の中でより良い会議を行っていく事は本当に大切に、金子理事長の時間配分が光った理事会であったように感じます。自分としては、人をお願いする難しさや、手間であっても誰かにやってもらう重要性を学びました。

それは、その方の成長の機会であり、自分自身が人の成長の機会を提供できると感じれたことは、青年会議所に入って良かったなと改めて感じる事ができました。

そして、2025年総務広報委員会メンバーは最高のメンバー配属をしていただきました。この委員メンバーだから1年間委員長職を全うできました。そんな委員メンバーも2026年度では殆ど理事会構成メンバーになっております。そんなメンバーで委員長ができたことは本当に誇らしいし、委員長職を担って本当に良かったと感じています。

最後となりますが、総務広報委員長に任命をしてくださった金子理事長、担当として支えていただいた山來専務理事、色んなお願いにも嫌な顔ひとつせず、寄り添い私に付いてきてくれた委員会メンバーと同期委員長の皆さま、そして日頃から事業に協力し参加してくださいましたLOMメンバーの皆さま、1年間本当にありがとうございました。

決 算

事業名	予 算	決 算
1. HP 立ち上げ・更新	120,000 円	120,000 円
2. 1月例会：1部・2部	380,000 円	378,369 円
合 計	500,000 円	498,369 円

渉外委員会

委員長 相馬 竜也
副委員長理事 伊藤 祐貴

スローガン

「呵呵大笑」

事業内容・事業報告

委員会方針

本年度の渉外委員会は、「呵呵大笑」のスローガンのもと、多くの交流機会を創出し、対内外の絆を深めることを目的として活動してまいりました。交流は単なる親睦ではなく、互いを理解し、信頼関係を築き、最終的には笑顔で積極的にまちづくりへ参画できる団結力ある組織を形成するための重要なプロセスです。一年間を通じて、対内外の事業に積極的に関わりながら、その目的の実現に努めました。

1. 新年会・京都会議引率（1月）

新年会

年始のスタートを飾る新年会では、現役メンバーに加え、昨年度の卒業生も招待し開催しました。卒業後も変わらず茅ヶ崎青年会議所を思い続けてくださる先輩方と現役メンバーが一堂に会することで、世代を越えた交流が生まれ、会場は終始活気と笑顔に包まれました。

現役メンバーにとっては、卒業生から直接経験談や想いを聞く貴重な機会となり、組織の歴史や伝統を改めて感じる場となりました。卒業生にとっても、現役メンバーの成長や活躍を目の当たりにすることで、安心と誇りを感じていただけたのではないかと思います。

「呵呵大笑」の言葉通り、笑顔あふれる一年の幕開けとなりました。

京都会議引率

日本青年会議所が開催する京都会議への引率を行いました。全国から多くの同志が集まるこの場は、一年の方向性を確認する重要な機会です。

また、姉妹 LOM である津青年会議所との合同懇親会も無事に開催することができました。長年続く交流の歴史を大切にしながら、互いの近況や活動を共有し、より強固な信頼

関係を築くことができました。こうした積み重ねが、将来的な協力関係の基盤となることを強く実感しました。

2. 茅ヶ崎大岡越前祭 参画 (4月)

茅ヶ崎大岡越前祭にやっこ隊として参画しました。本年度は委員長自らがやっこ頭を務め、先頭に立ってメンバーを牽引しました。

地域の伝統行事の中で先頭を歩く責任は決して軽いものではありませんが、自分自身の姿勢はメンバーに大きな影響を与え、強い一体感を生み出すことができました。沿道からの声援や地域の方々とのふれあいを通じて、JCの存在意義を改めて実感するとともに、地域に支えられている組織であることを再確認する機会となりました。

3. 湘南祭 参画 (5月)

湘南祭において、ベビーファーストブースを設置し、初の試みとしてソフトドリンク販売を実施しました。初挑戦ということもあり、準備段階では課題もありましたが、メンバーが一丸となって取り組み、当日は多くの来場者にご利用いただきました。

収益はベビー用品へと還元し、地域の子育て世代へ配布しました。受け取られた方々の笑顔や感謝の言葉は、私たちにとって何よりの励みとなりました。地域へ還元する形を明確に示せたことは、大きな成果であったと感じています。

4. 家族例会・ASPAC 引率 (6月)

家族例会

家族例会については、準備段階から多くの時間と労力をかけ、メンバー家族に楽しんでいただける企画を構築してきました。しかしながら、当日は荒天のためやむを得ず中止という判断を下すこととなりました。

非常に悔しい結果ではありましたが、安全を最優先とした決断であり、準備に関わった全員の想いは無駄ではありません。次年度へと必ず活かすべき経験となりました。

ASPAC ウランバートル大会引率

ASPAC ウランバートル大会への引率を行いました。国際的な舞台で多様な文化や価値観に触れる経験は、参加メンバーにとって大きな刺激となりました。国境を越えても変わらない「より良い社会を築きたい」という志を共有できたことは、JC運動の本質を体感する貴重な機会でした。

5. 関東地区大会・サマーコンファレンス・サザンビーチフェスタ (7月)

関東地区 上州きりゅう大会 引率

関東地区大会への引率を行いました。出向メンバーのブースも非常に充実しており、誇らしく感じる場面が多くありました。懇親会でのボートレース企画は大いに盛り上がり、他 LOM との距離を一気に縮める良い機会となりました。

サマーコンファレンス 2025 引率

日本青年会議所主催のサマーコンファレンス 2025 へ引率しました。毎年恒例となっている津青年会議所との合同懇親会も無事開催し、友情と信頼をさらに深めることができました。

サザンビーチフェスタ 2025

サザンビーチフェスタにて「未来手想図」を担当しました。216 枚の手形枠は完売御礼となり、多くの市民の皆様にご参加いただきました。未来への想いを形に残すこの企画は、地域と共に未来を描く象徴的な取り組みとなりました。

6. 神奈川ブロック大会 厚木大会 引率 (9月)

神奈川ブロック協議会による厚木ブロック大会へ引率しました。同じ茅ヶ崎青年会議所の舩津副理事長が大会運営委員長として事業をやり遂げる姿を見届けることができ、大きな感動を覚えました。仲間の挑戦を間近で支え、見届けることも渉外の重要な役割の一つであると感じました。

7. 全国大会 佐賀大会 引率 (10月)

日本青年会議所全国大会佐賀大会へ引率しました。全国の卒業生が集い、それぞれの集大成を迎える姿は非常に感慨深いものでした。全国規模の熱量を体感することで、参加メンバーの意識も大きく高まりました。

8. メンバー交流 ボウリング大会 (11月)

茅ヶ崎青年会議所メンバー交流事業としてボウリング大会を開催しました。次年度の委員会メンバー対抗戦形式とすることで、自然と交流が生まれ、笑い声が絶えない時間となりました。

単なるレクリエーションにとどまらず、次年度へ向けた結束強化の場となり、今後の活動をより円滑に進めるための土台づくりにつながりました。

感想

本年度の渉外委員会は、多くの対外事業への引率と地域事業への参画を通じて、交流と絆の創出に力を注いでまいりました。一つひとつの事業が、メンバー同士の信頼関係を深

め、他 LOM とのつながりを強化し、最終的には「呵呵大笑」の名の通り、笑顔あふれる組織づくりへとつながったと感じています。

課題もありましたが、それ以上に得た学びと絆は大きな財産です。本年度に築いたつながりを次年度以降へと引き継ぎ、より強固で積極的なまちづくりへとつなげてまいります。

決算

項目	予算	決算
1. 6月例会（家族例会）	100,000 円	59,380 円
2. 対内事業(11月交流会)	0 円	40,620 円
合計	100,000 円	100,000 円

地域経済開発委員会

委員長 山田 裕介

副委員長理事 石井 政輝

スローガン

「互譲互助」

事業内容・事業報告

1. 全体事業への参画（通年）

年間を通して、LOM 事業全般、各種大会・地域事業などへの参画を行いました。

2. 5月例会(まちづくり事業) (5月18日)

テーマ：茅ヶ崎青年会議所と他の地域コミュニティが相互理解と関係を構築し、今後のまちづくり運動に協働していける機会を創出する。茅ヶ崎市民や転入者が身近にある地域の文化や魅力を知り、共有し合うことで、より住みやすく魅力的なまちづくりに繋げる。

内容：本例会では、茅ヶ崎 FM によるラジオの生放送と連動した事業構築に初めて取り組みました。あいにく当日は天候に恵まれず、来場者数に影響が見られましたが、関係者のご協力により無事に開催しきれたことを、まずは何より嬉しく思っております。ラジオ放送に関しては、視聴率などの数値的な反響を把握することが難しい面はあるものの、一定数の市民へメッセージを届けることができたという手応えは感じております。また、今回の取り組みを通じて茅ヶ崎 FM 様との連携体制を築くことができたので、今後の事業広報にも活用できる基盤を得る機会となりました。

また、例会において御神輿を使用したのは久しぶりのことでしたが、来場者アンケートからも「茅ヶ崎の祭りといえば浜降祭」といった意見が多く見られ、市民にとって御神輿が地域文化として深く根付いていることを改めて実感しました。伝統文化の継承は決して容易な課題ではありませんが、興味関心を持つきっかけを継続的に創出し、青年会議所のみならず、地域の多様な団体が連携して取り組んでいくことが重要だと感じました。

茅ヶ崎にまつわるエモい写真をリクエスト曲、簡単なエピソードを添えて投稿いただいた「エモラジリクエスト」については、今回の目玉企画として無事に形にすることができました。それぞれの投稿から見えたのは、「個人にとっての茅ヶ崎」というものが、似て非なるものであり、切り取る視点やライフステージによって大きく意味を変えろという発見でした。まちの魅力を語ることは、まさに一人ひとりの経験の中にあることを実感できる貴重な機会となりました。

3. アロハマーケットへの参画（5月10日、11日）

テーマ：毎年5月に開催されるアロハマーケットへの参画を通じ、地域イベント運営に貢献する。

内容：本年度は主にクリーンブース管理を担当し、円滑な運営に寄与いたしました。ハワイ文化を体感できる本事業は、茅ヶ崎の姉妹都市・ホノルルとのつながりを感じられる貴重な機会でもあります。地域の魅力発信の一端を担えたことを嬉しく思うとともに、今後も積極的に関与してまいります。

4. 湘南4LOM合同事業（5月28日、10月27日）

テーマ：年間を通して、湘南4LOM内の交流を深めるために事業を行いました。

内容：5月は運動会、10月は合同懇親会を実施し、交流を深めました。本年度は交流に重点を置き、初めて受益者負担制を導入いたしました。参加者満足度は高い傾向にありましたが、事業意義の明確化や設えの精度向上など課題も残りました。次年度へ確実に引き継いでまいります。

5. ちか道清掃（7月2日）

毎年海開き前にちか道清掃を実施しております。継続事業として先輩方から受け継がれてきた活動を、本年度も絶やすことなく実施できました。対外的なまちづくり活動としての意義も再認識する機会となりました。

6. 10月例会（まちづくり事業）（10月18日）

テーマ：テーマを「防災」として、子どもから大人まで楽しみながら学べる体験型事業をすることで、防災への関心を高めるだけでなく、地域の魅力に触れるきっかけを創出し、特に子育て世代や転入者など、地域との接点を持ちにくい層に向けて、参加しやすく親しみのある構成とすることに重点を置きました。

内容：本例会では、「ジモト防災大作戦！」と題し、地域住民が主体となって防災を学び合う機会の創出を目指し、多様な体験型ブースを設けた事業構築に取り組みました。屋外開催ならではの天候影響や、広報での苦慮、周辺イベントとの重複等により来場者数に課題はあったものの、関係諸団体のご協力とメンバー一人ひとりの尽力により、無事に事業を完遂できたことを何より嬉しく思っております。

今回の事業では、子ども向けの体験コンテンツを中心に据え、「楽しみながら防災を学ぶ」という姿勢を大切に、企画を進めてまいりました。特に新聞紙スリッパづくりや模擬消火体験、簡易トイレづくりなど、身体を動かしながら学ぶブースは多くのご家庭に好評で、体験後のアンケートでも「家でもやってみたい」「防災を身近に感じた」といった声を多くいただきました。防災は知識として知るだけでなく、実際に経験として体に落とし込むことで初めて「自分ごと」になるものであり、その点では本例会が市民の意識醸成に寄与できた手応えを感じております。

また、茅ヶ崎市防災対策課・消防本部・カインズそよら湘南茅ヶ崎店・日本防災キャンプアウトドア協会など、専門性を有する多くの団体にご協力いただいたことで、地域ぐるみで防災を考える体制づくりの重要性を再認識する機会となりました。加えて、参加者との交流を通じて「子どもと一緒に備えを点検したい」など、家庭内での行動変容につながる言葉をいただいたことは、本事業の大きな成果であると考えております。一方で、集客や広報戦略、案内導線や役割分担の明確化など、今後の改善に向けて真摯に受け止めるべき課題も見えてまいりました。特に防災事業は参加者の「必要性の自覚」と「参加への動機付け」が不可欠であり、広報の在り方や訴求方法については引き続き検討が必要であると感じました。

7. 湘南 4LOM まちづくり会議への参画（通年）

本年度は初めて受益者負担での事業開催ということで、参加価値の最大化を目指して議論を重ねました。参加者視点での設計の重要性を学ぶ機会となりました。

8. 会員拡大（通年）

会員数の減少は LOM 全体の課題ということで、本年度は拡大についても積極的に取り組みました。特に本年度は地域のリーダー開発委員会によってネームバリューのある方と呼んだ例会が実施されていたのでゲストを呼びやすかったと考えています。担当委員会のみではなく全体で行うものとしての意識は委員会全体でも出来たと考えます。

9. 総務広報委員会との連携（通年）

本年度は事業系の委員会ということもあり、SNS での広報が多く、連携する機会も多かったと感じております。より効果を高めるため今までの広報とは手法を変えて、トップ画にこだわる、動画での告知を行うなど趣向を凝らしました。

感想

本年度、地域経済開発委員会は「互譲互助」を掲げ、他者を尊重し、支え合う姿勢を大切に活動してまいりました。

私自身、初めて委員長という立場を担わせていただいた一年でした。これまでメンバーとして事業に関わってきた経験とは異なり、「決める責任」「背負う責任」「結果を受け止める責任」の重さを実感する日々でありました。特に本年度は、5月例会・10月例会と対外事業を担当させていただきましたが、主に集客の面で思うようにいかない場面も多く、事業系委員会としての難しさを強く感じました。天候、広報戦略、他イベントとの重複など、自分たちの努力だけでは左右できない要素も多く存在する中で、それでも「どうすればより多くの市民に届けられるか」を考え続けることの重要性を学びました。

事業はつくるだけでは意味がなく、届けて初めて価値になる。その当たり前でありながら最も難しい本質に向き合った一年であったと感じております。

しかしながら、思うようにいかなかった経験こそが、私自身にとっても委員会にとっても大きな財産となりました。議論を重ね、悩み、修正しながら前に進んだ時間は、確実に組

織力の向上につながっていると感じております。また、行政・企業・地域団体との連携を通じて、まちづくりは単独では成り立たず、多様な主体が交わることで初めて力を持つことを改めて認識いたしました。

一年間、未熟な委員長を支えてくれた副委員長理事をはじめ委員会メンバー、そしてLOMメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。次年度以降の活動に必ず活かしていきます。

決算

事業名	予算	決算
1. 5月例会	200,000 円	194,074 円
2. 10月例会	200,000 円	199,056 円
合計	400,000 円	393,130 円

地域のリーダー開発委員会

委員長 川越 龍之介
副委員長理事 依光 尚人

スローガン 「勇気共躍」

事業内容・事業報告

1. 2月例会

テーマ：Chigasaki BizLink ～新たな出会いが未来を創る～

内容

本事業「Chigasaki BizLink」は、地域で事業を営む青年やビジネスパーソンが一堂に会し、異業種・同業種の枠を越えた交流を通じて新たなつながりや気づきを得ることを目的としたビジネスマッチングイベントとして実施しました。

近年、業種や立場を越えて相互理解を深める機会が限られており、人と人との接点不足が課題となっています。本事業は、その課題に対し「出会いの場」を意図的につくることで、地域内における関係性の循環を生み出すことを狙いとして企画しました。

当日は、参加者を少人数のグループに分け、グループ形式での交流を中心としたプログラムを実施しました。

単なる名刺交換に終始することなく、各自が自身の事業内容や現在抱えている課題、今後の展望について言葉にする時間を設けることで、相互理解が深まるよう工夫しました。また、発言機会に偏りが出ないように配慮し、参加者全員が主体的に関われる進行を意識しました。

こうした構成により、参加者同士が互いの価値観や考え方に触れ、立場や業種の違いを越えて対話が生まれる場となりました。本事業を通じて、地域におけるビジネスや活動は「個」で完結するものではなく、「人と人とのつながり」によって広がりや可能性が生まれるものであるという認識を共有する機会となりました。

また、本事業は対外向け事業として、青年会議所の活動や存在意義を広く知っていただく機会としても位置付けており、参加者がJCの雰囲気や価値観に自然に触れられるよう配慮しました。

今後の地域活動や事業連携、さらには青年会議所への関心につながるきっかけづくりとして、意義のある例会となるよう設計しました。

2 .4月例会

テーマ『西野亮廣講演会 in 茅ヶ崎市』

内容

本例会は、参加者一人ひとりが自身の可能性や将来像について向き合い夢や目標に対して主体的に行動する意識を醸成することを目的として、講演会形式にて実施しました。

社会環境が大きく変化する現代において決められた正解を待つのではなく、自ら考え、挑戦し続ける姿勢を持つ人材の重要性が高まっています。本事業は、そうした時代背景を踏まえ、行動することの意義や考え方を参加者に伝える機会として企画しました。

講師には、お笑いタレント、絵本作家、会社経営者としても活躍されている 西野亮廣氏をお招きしました。

講演では、芸能界という競争の激しい世界での経験や実業家としての挑戦の過程をもとに、自身の可能性をどのように広げてきたのか、夢を実現するためにどのような行動や意識を持ち続けてきたのかについてお話しいただきました。

特に、「夢は突然叶うものではなく、日々の選択や行動の積み重ねによって育てていくものである」という考え方は、参加者にとって自身の人生やキャリアを見つめ直すきっかけとなる内容でした。

講演を通じて、挑戦には不安や困難が伴う一方で、それを乗り越える過程そのものが成長につながるというメッセージが伝えられ参加者が自分自身の行動を振り返る時間となるよう構成しました。

また、本例会は大規模な対外事業として実施し、青年会議所の活動や考え方に触れていただく機会としても位置付けました。

多くの来場者を迎える中で、JC が地域に対して果たしている役割や、次世代のリーダー育成に取り組む姿勢を広く発信する場として、意義ある例会となるよう運営しました。

3.8 月例会

テーマ THE CHALLENGE ～入江慎也が語る再起力～

内容

本例会は、人とのつながりや信頼関係が、人生やビジネス、さらには地域活動においてどれほど大きな影響を持つのかを改めて考える機会として、トークショー形式にて実施しました。

現代社会においては、成果やスピードが重視される一方で、信頼を築き続ける姿勢や誠実な行動の重要性が見えにくくなりがちです。本事業では、そうした価値を再確認し、逆境に直面した際にも前向きに行動し続ける力を学ぶことを目的としました。

講師には、地域支援や人材育成など多方面で活躍されている 入江慎也氏をお招きしました。

トークでは、「人とのつながりが人生とビジネスを変える」をテーマに、スキャンダルによ

ってゼロからの再出発を余儀なくされた経験と、その後、誠実な行動と継続的な努力によって信頼を取り戻してきた実体験をもとにお話しいただきました。

入江氏の体験談を通じて、求心力の育て方、信頼構築に必要な姿勢、つながりをどのように活かしていくかといった視点を学び、自己ブランディングの在り方についても具体的な示唆を得られる内容としました。

これらの話題を、青年会議所活動や日常の仕事・地域活動にどのように活かしていくかを考える機会となるよう構成しました。

講演終了後には、同一会場にて立食形式の懇親会を実施しました。

開始時は固定席とし、中盤に席替えタイムを設けることで、より多くのゲストと自然な形で交流が生まれるよう配慮しました。

また、メンバーには事前にミッションカードを配布し、形式的な勧誘ではなく、会話を通じて青年会議所の雰囲気や活動の魅力を伝える設計としました。

拡大活動においては「押す」のではなく「伝える」ことを重視し、興味を持ったゲストが次のステップへ進める導線づくりを意識しました。

4. 第 01 回 新入会員研修

内容

本研修は、茅ヶ崎青年会議所の新入会員および入会 3 年以下のメンバーを対象に、青年会議所活動の「本質」を理解し、組織の一員としての意識を醸成することを目的として実施しました。

青年会議所は、単なる交流団体ではなく、地域課題の解決を目的とした運動体であり、その理念や考え方を正しく理解することが、今後の活動に主体的に関わるための基盤となります。本研修は、その基礎を学ぶ初期段階の研修として位置付けました。

講師には、日本 JC の研修制度に精通されている 瀬川政仁先輩 をお招きし、JC が大切にしている考え方や目的、価値観について、丁寧かつ分かりやすい解説をいただきました。特に、JC が掲げている「目指す未来像（ビジョン）」「果たすべき使命（ミッション）」「大切にしている価値観（バリュー）」の 3 つの柱を中心に、なぜこれらが活動の指針となるのかについて学びました。

本研修を通じて、参加者が「なぜ JC は存在するのか」「自分はなぜこの組織に所属しているのか」という問いに向き合い、自身の JC 活動の意義や今後の関わり方を考えるきっかけとなる内容としました。

5. 第 02 回 新入会員研修

内容

本研修は、新入会員および入会 3 年以下のメンバーを対象に、自己理解を深めるとともに、JC 活動への意欲向上とリーダーとしての意識改革を促すことを目的として実施しまし

た。

JC 活動においては、役職や経験年数に関わらず、一人ひとりが主体的に考え行動する姿勢が求められます。本研修では、その土台となる「自分自身の在り方」に焦点を当てました。

講師には アチーブメント株式会社 をお招きし、リーダーシップ理論を中心とした講義を実施しました。

講義では、価値観や思考の癖が行動にどのような影響を与えるのかを学び、参加者が自身の考え方や行動を客観的に見つめ直す内容としました。

本研修を通じて、参加者が受け身で活動するのではなく、自ら考え、選択し、行動する姿勢の重要性を理解し、今後の JC 活動に前向きに取り組むための意識づくりを図りました。

6. 第 03 回 新入会員研修

内容

本研修は、新入会員および入会 3 年以下のメンバーを対象に、JC 運動の意義と運動構築の考え方を学び、地域課題に主体的に向き合う意識を高めることを目的として実施しました。

青年会議所活動は、理念を理解するだけでなく、それを具体的な「運動」として地域に展開していくことが求められます。本研修では、その実践的な部分に焦点を当てました。

講師には、日本青年会議所 運動構築支援委員会 委員長である 杉本 康様 をお招きし、全国各地で培われた経験をもとに、JC における運動構築の考え方についてご講義いただきました。

講義では、地域課題の抽出から目的設定、運動の展開、成果の検証に至るまでの一連のプロセスを具体的に学び、運動を形にしていくための思考法を理解する内容としました。

本研修を通じて、参加者が「自分たちには地域に対して何ができるのか」「自分自身はどのような役割を担えるのか」を考え、今後の JC 活動や委員会活動に主体的に関わるための意識を高める機会となるよう構成しました。

感想

2025 年度、地域のリーダー開発委員会の委員長として一年間活動する中で、多くの学びと同時に、自身の未熟さや課題と真正面から向き合う一年となりました。

例会や研修を通じて、地域のリーダー育成という大きなテーマに挑戦する一方で、「委員会をどう導くか」「メンバーとどう向き合うか」という点では、常に悩み続けていたのが正直なところです。

本年度は、2 月例会、4 月例会、8 月例会と性質の異なる事業を連続して実施しました。

特に4月例会は300名を超える来場者を迎える大規模な対外事業であり、準備段階から関係各所との調整、広報、動員、当日の運営まで、想像以上に多くの判断と対応が求められました。

その中で、委員長として「任せる」ことよりも「自分で抱える」選択をしてしまった場面が多くあったことは大きな反省点です。

一方で、本年度を振り返るうえで強く印象に残っているのは新入会員の存在です。

新入会員が委員会活動に積極的に参加し準備や当日の運営、各種研修への取り組みなどさまざまな場面で主体的に動いてくれました。

正直に言えば、「本当に助けられた」という気持ちが一番大きく委員会が前に進めたの

は、新入会員を含めたメンバー一人ひとりの行動があったからだと感じています。

新入会員研修で学んだ内容を実際の委員会活動の中で実践しようとする姿勢が随所に見られたことは、委員長として非常に心強く、同時に自分自身も背中を押される思いでした。

一方で、研修で得た学びを継続的な行動につなげるためのフォローや仕組みづくりについては十分に整えきれなかった点もあり今後に向けた課題であると感じています。

また、拡大を意識した事業運営を行う中で数値目標を追うことと青年会議所の価値や魅力を丁寧に伝えることの両立の難しさも痛感しました。

「拡大のために何をすべきか」だけでなく、「なぜJCなのか」「自分自身は何のためにJCにいるのか」を委員会全体で深く共有しきれなかった点についても委員長として責任を感じています。

この一年を通して、リーダーとしての役割は先頭に立って引っ張ることだけではなくメンバーを信じて任せ挑戦できる環境を整えることだということを学びました。

頭では分かっている実践することの難しさを身をもって経験できたことは今後のJC活動や地域での自分の在り方を考えるうえで大きな財産になったと感じています。

委員会メンバーそして特に積極的に関わってくれた新入会員には心から感謝しています。

本年度の経験と反省を次年度へ確実につなげより多くのメンバーが早い段階から活躍できる委員会運営につなげていきたいと考えています。

以上をもって、2025年度地域のリーダー開発委員会の年間の感想といたします。

決算

項目	予算	決算
1. 2月例会	14,500円	14,087円
2. 4月例会	1,787,000円	1,769,019円
3. 8月例会	684,000円	594,000円
合計	2,485,500円	2,377,106円

公益社団法人日本青年会議所 地域グループ

スポーツの力委員会 出向者報告書

副委員長 羽場 大祐

2025 年度公益社団法人日本青年会議所地域グループスポーツの力委員会に副委員長として出向の機会を賜り、心より感謝申し上げます。LOM では監事という立場でありながら、全国の同志とともに運動を推進する機会をいただき、組織運営および地域連携の在り方について多くの学びを得る一年となりました。

副委員長として委員会運営の補佐を担うとともに、第 4 小委員会担当副委員長として「共生社会の実現」をテーマとした事業推進に携わりました。

特に、24 時間テレビ内の企画である「バリアフリー花火」の企画協力・運営補助を担当いたしました。

本事業は、障がいの有無に関わらず多くの方々が安心して花火を楽しめる環境を整備することを目的とし、観覧エリアの安全設計、多様な立場の方への配慮事項の整理、聴覚障がいや視覚障がいなどの関係諸団体や TV 局などとの連携調整に取り組みました。

スポーツの力委員会として、単なるイベント運営に留まらず、「誰一人取り残さない地域づくり」という理念を体現する事業として位置付け、共生社会実現への一助となるよう尽力いたしました。

本出向を通じ、強く実感したことは、共生社会は理念だけでなく設計と準備で実現すること、多様な立場の声を事業に反映させる調整力の重要性、副委員長としての組織マネジメントと全体最適の視点です。全国の志高き同志との議論や実践を通じ、地域課題を自分事として捉える姿勢と、広域的な視点の重要性を学びました。

これらを組織運営や事業検証に活かし、茅ヶ崎青年会議所のさらなる発展に貢献してまいります。

本出向の機会を与えてくださった金子理事長をはじめ会員各位、そして一年間ともに出向し活動いただいた委員会メンバーに心より御礼申し上げます。本経験を糧に、今後も地域に必要とされる運動を推進してまいります。

公益社団法人日本青年会議所 地域グループ

スポーツの力委員会 出向者報告

小幹事 内田 浩太郎

昨年度は、公益社団法人日本青年会議所スポーツの力委員会に小幹事として出向の機会をいただきました。

スポーツの力委員会では、担当事業としてJ Cカップの運営及び日本テレビの24時間テレビの企画協力を行いました。LOMとは異なるスケールと視座で活動が行われており、全国組織ならではの責任感と影響力を肌で感じた出向期間でした。

また、委員会を構成するメンバーも各LOMで理事長を務めるような優秀な人材が全国各地から集まっていたため、メンバーから大きな刺激をいただき、リーダーシップの在り方など多くの学びがありました。

加えて、日本青年会議所の出向という大義名分を得ながら、旅行気分で全国のメンバーのLOMの地を巡り、貴重な思い出を作ることができました。

今後、出向で得た経験をLOMに還元できるよう努めて参りたいと思います。この度は出向の機会をいただき心より感謝申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 地域グループ
スポーツの力委員会 出向者報告

委員 後藤未鈴

私は、本年度の公益社団法人日本青年会議所地域グループスポーツの力委員会に委員として出向させていただきました。

出向が初めてで、LOMでは体験できないスケールの事業を経験出来ることに期待しての出向でありました。また、本年は羽場大祐君をスポーツの力委員会の副委員長として出向させて頂いたことから、少しでも力になればという思いもございました。

実際に参加をさせて頂き、日本JCの事業の規模感に圧倒されました。スポーツの力委員会は、JCカップの地区大会、全国大会、世界大会、テレビ番組への協力を行いました。日本全体の青少年少女の海外チームと戦うために互いをグッドルーザー精神に則り切磋琢磨している姿を支える事がとても印象に残っております。また、私が配属された小委員会の羽場大祐副委員長は他の小委員会と別の動きをすることが多かった中、他の小委員会の事業を担当小委員会全体を巻き込みながら士気上げをしており、日本JCのスタッフの凄さにとっても驚きと感動をいたしました。本当に大変な役をこなされておりましたので、同じ茅ヶ崎JCとして大変誇りに思っております。

自身としてはこの貴重な経験をLOMに持ち帰り、LOMのさらなる発展に寄与できるよう活動を行いました。

出向は新しい出会いと経験や学びが得られるものでした。まだ出向をされたことのないメンバーには是非この機会を掴み取っていただきたいと思っております。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区

神奈川ブロック協議会 ブロック大会運営委員会出向者報告

委員長 船津 憲幸

2025年度、神奈川ブロック協議会ブロック大会運営委員会の委員長として出向させていただきました。神奈川ブロック協議会の役員はサラリーマンの私にとっては少々背伸びをしすぎた役職だったと思っています。茅ヶ崎青年会議所を背負っての出向、神奈川県内メンバーからみられる立場ということで、非常にプレッシャーも感じていました。

第53回神奈川ブロック大会は、公益社団法人厚木青年会議所の主管のもと、来場者20,000人規模という非常にスケールの大きな大会として開催されました。この大会を最後までやり切れたことは、神奈川ブロック協議会にとって歴史に残る挑戦であり、大きな成果であったと確信しています。その中心となり覚悟をもって大会を牽引された公益社団法人厚木青年会議所の皆様には、深い敬意と感謝を表します。

ブロック大会運営委員会の委員長として、県内各地から集まったメンバーと共に企画・運営に携わる中で、ブロック大会は一つの事業ではなく、「信頼と覚悟の積み重ね」で成り立つものだと実感しました。決して平坦な道のりではありませんでしたが、仲間と同じ方向を向き、最後までやり切れた経験は、私にとって何にも代えがたい財産です。

2025年度をもって卒業となりJC活動は一区切りとなりますが、神奈川ブロック協議会で得た学びとつながりは、これからの人生においても確実に生き続けるものだと確信しています。出向の魅力は出向してみないとわかりません。青年会議所には多くの機会が用意されています。現役の皆様には、強く神奈川ブロック協議会への出向をお勧めします。

最後に、この貴重な機会を与えてくださったすべての皆様、そして共に歩んでくれた仲間に、心から感謝を申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会ブロック大会運営委員会 出向者報告

総括監事 相原 豊

2025年度は神奈川ブロック協議会のブロック大会運営委員会の総括監事として出向をさせていただきました。茅ヶ崎 JC からは委員長として船津君が出向されており、総括監事として出来る限りのサポートを行いました。

委員会の一番大きい役割として、ブロック大会厚木大会の開催が主でしたが、準備期間から当日までほぼ丸一年厚木青年会議所と共に最高の大会を開催するべく打ち合わせを重ね、当日は素晴らしいブロック大会が開催できたこと、最後閉会式での船津委員長の涙は忘れることはないと思います。自分にとってもブロック大会を最初から構築する経験をできたことは今までの人生で他にはない感動や経験です。ほかにも今年度のブロック大会綾瀬大会開催に際しての対話集会の設えや来年度の三浦大会の現地視察や対話集会の設え等も行い当該年度のみではなく未来のブロック大会の下準備にも携わらせていただいたことは素晴らしい経験と財産になりました。

最後になりますが金子理事長をはじめと致します LOM のメンバーの皆様、わたくしを総括監事に指名していただいた船津委員長には感謝の気持ちしかございません。このような素晴らしい機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会

かながわの繋がり構築特別委員会 出向者報告

副委員長 安武芳洋

私は2025年度に神奈川ブロック協議会かながわの繋がり構築特別委員会に出向いたしました。神奈川ブロック協議会への出向は何度か経験をさせて頂いたことがありますが、副委員長としての出向は初めての経験となりました。

出向先の委員会では一般社団法人藤沢青年会議所の戸田委員長を筆頭に、私を含めて4名の副委員長がおり、各4つの小委員会で構成されておりました。私が配属されたのは第3小委員会であり、褒賞事業、メンバー交流事業、ブロック大会でのフォーラム事業、その他にも各種大会のエントリーサポートや参加登録サポートなどの事業を担当させて頂きました。事業を構築するにあたりまず初めに感じたことは、上程スケジュールが密であり、上程する会議数もLOMよりも多かったことです。そのため、1度議案を上程してからは審議が可決されるまで、常に議案と向き合っているという感覚を体験いたしました。LOMでも何度か議案を上程したことはありますが、神奈川ブロック協議会のスピード感到に圧倒され、少し議案が追い付かないということもございました。しかし、委員長をはじめとする同じ委員会の仲間たちにも支えられ、なんとか1年間自分の役を全うすることが出来ました。また、これほどまでに貴重な経験をさせて頂いたことで、自分自身も大きく成長することが出来たと感じております。

結びとなりますが、かながわの繋がり構築特別委員会の全てのメンバーに感謝するとともに、私を神奈川ブロック協議会へ出向させて頂いた、金子理事長には本当に感謝しております。出向で私が得た学びや経験は、2026年度以降のLOMの活力向上や成長の機会とできるように共有して参ります。この度は大変貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区
神奈川ブロック協議会かながわの繋がり構築特別委員会
出向者報告

小幹事 伊藤 祐貴

2025年度は神奈川ブロック協議会のかながわの繋がり構築特別委員会に小幹事として出向をさせていただきました。茅ヶ崎 JCからはVCとして安武 芳洋君が出向されており、小幹事として出来る限りのサポートを行いました。

当年度の大きな活動は県内 21LOMの繋がりをもっと強固にすべく様々な交流事業を構築して参りました。各地域でそれぞれ内容の異なる交流会を行うことで多くのメンバーに参画していただくことができました。

規模の大きな事業構築に携わることができたこと、司会・設営などLOMだけでは気づくことのできなかった部分にも視野を広げることができた1年になりました。

最後になりますが金子理事長をはじめと致しますLOMのメンバーの皆様、このような素晴らしい機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会

かながわの繋がり構築特別委員会出向者報告

委員 佐藤和美

本年度、神奈川ブロック協議会の一員として出向させていただきました。
出向させていただくのが初めてだったので、出向というものがどんなものなのか、最初はしっかりと理解できていない中でのスタートでした。
正直、LOMや社業との同時進行の中で、あまり積極的に参加できなかったのが現実です。
そんな私にとって、今年度の出向で唯一思い出深く残っている活動は『KANAGAWA WOMEN'S CONNECTION 2025』です。
かなつがの女性メンバーが運営を行い、21LOMの女性メンバーのみ参加していただく大規模な女子会でした。
男性メンバーの多いJCという団体だからこそ、いつもとは全く異なる雰囲気や設営、女性だからこそ響くスピーチ内容や会話など、女性メンバーが活発に交流してくれている姿がとても嬉しく感じました。
出向とはどんなものなのか、不安が大きかったのですが、この活動を通してブロックの楽しさや他LOMメンバーとの繋がりを持つことの意味を学ぶ機会となりました。
今年度の経験を胸に、次年度は出向をもっと積極的に楽しんで参加していこうと考えております。
以上をもちまして出向報告とさせていただきます。
一年間、ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会
かながわネットワーク推進会議 出向者報告

委員 山來 京生

2025年度は、かながわネットワーク推進会議の委員として出向させていただき、醍醐味である横の繋がりを構築することができました。この委員会は各LOMから専務理事が出向しており今までの出向とは一味違いました。なかなか理事長のアテンドについていることが多く事業を運営することはできませんでしたが、専務理事同士はかなり交流を図ることができたと思います。お互いのLOMの課題点や良い点を知ることができました。また今年度は同期専務から理事長やブロック役員を担っている人もいて、お互い切磋琢磨しながら良い刺激をもらっています。

この出向で培った人脈が自分だけではなく、今後の茅ヶ崎J Cの発展に寄与できるとも思っていますし、この委員会に出向できて良かったと感じています。

最後にこのような機会をいただいた金子理事長に感謝するとともに、出向にご支援いただきましたメンバーに御礼を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。ありがとうございました。

貸借対照表
令和7年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	125,600	224,753	△ 99,153
普通預金	1,459,259	2,546,571	△ 1,087,312
立替金	82,665	82,665	0
流動資産合計	1,667,524	2,853,989	△ 1,186,465
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761	584,761	0
60周年事業積立資産（定期預金）	400,000	400,000	0
特定資産 計	984,761	984,761	0
(2) その他固定資産			
定期預金	1,519,040	3,019,040	△ 1,500,000
JCLルーム保証金	936,000	936,000	0
電話加入権	144,000	144,000	0
その他固定資産 計	2,599,040	4,099,040	△ 1,500,000
固定資産合計	3,583,801	5,083,801	△ 1,500,000
資産合計	5,251,325	7,937,790	△ 2,686,465
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	0	0	0
流動負債 計	0	0	0
2. 固定負債			
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	3,583,801	5,083,801	△ 1,500,000
(うち基本財産への充当額)	2,599,040	4,099,040	△ 1,500,000
(うち特定資産への充当額)	984,761	984,761	0
指定正味財産合計	3,583,801	5,083,801	△ 1,500,000
2. 一般正味財産	1,667,524	2,853,989	△ 1,186,465
(うち基本財産への充当額)	△ 432,476	753,989	△ 1,186,465
(うち特定資産への充当額)	2,100,000	2,100,000	0
一般正味財産合計	1,667,524	2,853,989	△ 1,186,465
負債及び正味財産合計	5,251,325	7,937,790	△ 2,686,465

正味財産増減計算書
令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

(単位：円)

	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入金	(240,000)	(300,000)	(△ 60,000)	
受取新入会員入会金	240,000	300,000	△ 60,000	
受取会費	(4,307,800)	(5,332,000)	(△ 1,024,200)	
受取正会員会費	3,158,400	3,948,000	△ 789,600	
受取新入会員会費	601,600	752,000	△ 150,400	
受取特別会員会費	112,800	282,000	△ 169,200	
受取休会者会費	0	0	0	
受取賛助会員会費	435,000	350,000	85,000	
事業収入	(324,000)	(0)	(△ 324,000)	
事業収入	324,000	0	324,000	
登録料収入	0	0	0	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	
受取寄付金 (協賛金含む)	0	0	0	
雑収入	(4,367)	(37,007)	(△ 32,640)	
受取利息	4,367	400	3,967	
雑収入	0	36,607	△ 36,607	
例会事業会計差額	0	0	0	
前期繰越金	(414,945)	(1,021,476)	△ 606,531	
前期繰越金	414,945	1,021,476	△ 606,531	
経常収益計	5,291,112	6,690,483	△ 1,399,371	
(2) 経常費用				
事業費	(5,164,093)	(4,077,670)	(1,086,423)	
事業費負担金	(617,750)	(1,027,822)	(△ 410,072)	
JCI会費	81,510	165,947	△ 84,437	
日本JＣ会費	349,990	247,500	102,490	
国際協力資金	0	82,125	△ 82,125	
We Believe 購読料	52,250	123,250	△ 71,000	
関東地区協議会負担金	0	0	0	
神奈川JCI協議会負担金	104,000	271,000	△ 167,000	
湘南4 LOM負担金	0	100,000	△ 100,000	
諸会費	30,000	38,000	△ 8,000	
委員会事業費	(2,207,785)	(1,031,937)	(1,175,848)	
総務広報委員会	274,635	237,500	37,135	
渉外委員会	59,380	0	59,380	
地域経済開発委員会	393,130	0	393,130	
地域のリーダー開発委員会	1,480,640	0	1,480,640	
LOVE & PRIDE醸成委員会	0	677,426	△ 677,426	
拡大交流委員会	0	117,011	△ 117,011	
公式行事登録料	(448,000)	(266,000)	(182,000)	
日本J C 出向者負担	60,000	100,000	△ 40,000	
京都会議	8,000	28,000	△ 20,000	
関東地区ナイト	20,000	0	20,000	
ブロック全体会議	0	0	0	
A S P A C	0	0	0	
関東地区大会	0	0	0	
サマーコンファレンス	300,000	0	300,000	
ブロック大会	60,000	0	60,000	
全国大会	0	0	0	
J C I 世界会議	0	138,000	△ 138,000	
ありがとう関東地区	0	0	0	
ありがとうブロック	0	0	0	
例会活動費	(1,111,818)	(801,596)	(310,222)	
会場費	283,230	120,648	162,582	
通信費	329,680	159,130	170,550	
印刷製本代	306,973	344,666	△ 37,693	
消耗品費	70,000	65,676	4,324	
広告費	121,935	111,476	10,459	
会議費	(191,740)	(224,200)	(△ 32,460)	
理事会費	191,740	224,200	△ 32,460	
渉外費	(587,000)	(726,115)	(△ 139,115)	
渉外費 1	382,000	293,000	89,000	
渉外費 2	100,000	318,115	△ 218,115	
慶弔費	105,000	115,000	△ 10,000	
管理費	(2,159,513)	(1,858,820)	(300,693)	
管理費負担金	(126,000)	(126,000)	(0)	
茅ヶ崎商工会議所会費	126,000	126,000	0	
事務局費	(2,033,513)	(1,732,820)	(300,693)	
給料手当	810,222	720,664	89,558	
法定福利費	9,211	9,136	75	
事務局用品費	192,875	42,497	150,378	
通信費	83,813	72,586	11,227	
水道光熱費	11,172	9,435	1,737	
地代家賃	876,840	776,480	100,360	
雑費	44,100	45,286	△ 1,186	
新入会員諸費用	5,280	56,736	△ 51,456	
経常費用計	7,323,606	5,936,490	1,387,116	
当期経常増減額	△ 2,032,494	753,993	△ 2,786,487	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	5,251,325	5,083,801	167,524	
当期経常外増減額	△ 5,251,325	△ 5,083,801	△ 167,524	
当期一般正味財産増減額	△ 1,186,465	△ 267,483	△ 918,982	
一般正味財産期首残高	2,853,989	3,121,472	△ 267,483	
一般正味財産期末残高	1,667,524	2,853,989	△ 1,186,465	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000	
指定正味財産期首残高	5,083,801	5,083,801	0	
指定正味財産期末残高	3,583,801	5,083,801	△ 1,500,000	
III 正味財産期末残高	5,251,325	7,937,790	△ 2,686,465	

貸借対照表内訳表
令和7年12月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金			125,600		125,600
普通預金			1,459,259		1,459,259
立替金			82,665		82,665
流動資産合計	0	0	1,667,524	0	1,667,524
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
公益目的事業積立資産（定期預金）	584,761		584,761		584,761
60周年事業積立資産（定期預金）			400,000		400,000
特定資産 計	584,761	0	984,761	0	984,761
(2) その他固定資産					
定期預金			1,519,040		1,519,040
JCルーム保証金			936,000		936,000
電話加入権			144,000		144,000
その他固定資産 計	0	0	2,599,040	0	2,599,040
固定資産合計	584,761	0	3,583,801	0	3,583,801
資産合計	584,761	0	5,251,325	0	5,251,325
II 負債の部					
1. 流動負債					
仮受金			0		0
流動負債 計	0	0	0	0	0
2. 固定負債					
負債合計	0	0	0	0	0
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	984,761		3,583,801		3,583,801
(うち基本財産への充当額)			2,599,040		2,599,040
(うち特定資産への充当額)	984,761		984,761		984,761
指定正味財産合計	984,761	0	3,583,801	0	3,583,801
2. 一般正味財産			1,667,524		1,667,524
(うち基本財産への充当額)			△ 432,476		△ 432,476
(うち特定資産への充当額)			2,100,000		2,100,000
一般正味財産合計	0	0	1,667,524	0	1,667,524
負債及び正味財産合計	984,761	0	5,251,325	0	5,251,325

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 まちへの誇りと 愛情を育む事業	公2 おもいやりの精神を 育む事業	公3 青少年育成事業	公4 まちづくり事業	共通	小計	共益事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
受取入会金												
受取新入会員入会金	0	0	0	0	118,689	118,689	30,039	0	30,039	91,272	0	240,000
受取入会金 計	0	0	0	0	118,689	118,689	30,039	0	30,039	91,272	0	240,000
受取会費												
受取正会員会費	0	0	0	0	1,561,950	1,561,950	395,316	0	395,316	1,201,134	0	3,158,400
受取新入会員会費	0	0	0	0	297,515	297,515	75,298	0	75,298	228,787	0	601,600
受取特別会員会費	0	0	0	0	55,784	55,784	14,118	0	14,118	42,898	0	112,800
受取賛助会員会費	0	0	0	0	215,124	215,124	54,446	0	54,446	165,430	0	435,000
受取会費 計	0	0	0	0	2,130,373	2,130,373	539,178	0	539,178	1,638,249	0	4,307,800
事業収入												
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324,000
事業収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324,000
繰入金収入												
繰入金収入	0	0	0	0	205,206	205,206	51,936	0	51,936	157,803	0	414,945
繰入金収入 計	0	0	0	0	205,206	205,206	51,936	0	51,936	157,803	0	414,945
雑収入												
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,367	0	4,367
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シニア基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,500,000	0	1,500,000
例会事業会計差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,504,367	0	1,504,367
経常収益合計	0	0	0	0	2,249,062	2,249,062	569,217	0	569,217	3,233,888	0	6,791,112
(2) 経常費用												
事業費	0	0	0	3,288,777	0	3,288,777	689,566	0	689,566	1,185,750	0	5,164,093
事業費負担金												
JCI会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,510	0	81,510
日本JCI会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	349,990	0	349,990
国際協力資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
We Believe 購読料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,250	0	52,250
関東地区協議会負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川JCI協議会負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104,000	0	104,000
湘南4 LOM負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
事業費負担金 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	617,750	0	617,750
委員会事業費												
総務委員会	0	0	0	154,635	0	154,635	0	0	0	120,000	0	274,635
渉外委員会	0	0	0	0	0	0	59,380	0	59,380	0	0	59,380
地域経済開発委員会	0	0	0	393,130	0	393,130	0	0	0	0	0	393,130
地域のリーダー開発委員会	0	0	0	1,480,640	0	1,480,640	0	0	0	0	0	1,480,640
委員会事業費 計	0	0	0	2,028,405	0	2,028,405	59,380	0	59,380	120,000	0	2,207,785
公式行事登録料												
日本JCI出向者負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
京都会議登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,000	0	8,000
関東地区ナイト登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
京都会議JCIナイト登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JCI全体会議登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ASPAC登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東地区大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JCIワールド登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
JCI大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
全国大会登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JCI世界会議登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おがたし関東地区登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おがたしJCI登録料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公式行事登録料 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448,000	0	448,000
例会活動費												
会場費	0	0	0	188,820	0	188,820	94,410	0	94,410	0	0	283,230
通信費	0	0	0	219,787	0	219,787	109,893	0	109,893	0	0	329,680
印刷製本代	0	0	0	204,649	0	204,649	102,324	0	102,324	0	0	306,973
消耗品費	0	0	0	46,667	0	46,667	23,333	0	23,333	0	0	70,000
広報費	0	0	0	81,290	0	81,290	40,645	0	40,645	0	0	121,935
例会活動費 計	0	0	0	741,212	0	741,212	370,606	0	370,606	0	0	1,111,818
会議費												
理事会費	0	0	0	127,827	0	127,827	63,913	0	63,913	0	0	191,740
会議費 計	0	0	0	127,827	0	127,827	63,913	0	63,913	0	0	191,740
渉外費												
渉外費1	0	0	0	254,667	0	254,667	127,333	0	127,333	0	0	382,000
渉外費2	0	0	0	66,667	0	66,667	33,333	0	33,333	0	0	100,000
慶弔費	0	0	0	70,000	0	70,000	35,000	0	35,000	0	0	105,000
寄付金支払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費 計	0	0	0	391,333	0	391,333	195,667	0	195,667	0	0	587,000
管理費	0	0	0	1,079,522	0	1,079,522	726,505	0	726,505	754,258	0	2,159,513
管理費負担金												
茅ヶ崎商工会議所会費	0	0	0	0	0	0	25,200	0	25,200	100,800	0	126,000
管理費負担金 計	0	0	0	0	0	0	25,200	0	25,200	100,800	0	126,000
事務局費												
給与	0	0	0	0	0	0	162,044	0	162,044	648,178	0	810,222
法定福利費	0	0	0	6,141	0	6,141	3,070	0	3,070	0	0	9,211
事務局用品費	0	0	0	128,583	0	128,583	64,292	0	64,292	0	0	192,875
通信費	0	0	0	55,875	0	55,875	27,938	0	27,938	0	0	83,813
水道光熱費	0	0	0	7,448	0	7,448	3,724	0	3,724	0	0	11,172
地代家賃	0	0	0	584,560	0	584,560	292,280	0	292,280	0	0	876,840
雑費	0	0	0	29,400	0	29,400	14,700	0	14,700	0	0	44,100
新入会員諸費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,280	0	5,280
事務局費 計	0	0	0	812,007	0	812,007	568,048	0	568,048	653,458	0	2,033,513
積立金	0	0	0	(1,000,000)	0	(1,000,000)	(500,000)	0	(500,000)	0	0	(1,500,000)
予備費	0	0	0	267,515	0	267,515	133,257	0	133,257	0	0	400,772
経常費用合計	0	0	0	4,368,299	0	4,368,299	1,416,071	0	1,416,071	1,940,008	0	6,224,378
当期経常増減額	0	0	0	△ 4,368,299	2,249,062	△ 2,119,237	△ 846,854	0	△ 846,854	1,293,880	0	566,734
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 4,368,299	2,249,062	△ 2,119,237	△ 846,854	0	△ 846,854	1,293,880	0	566,734
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,853,989	0	2,853,989
一般正味財産期末残高	0	0	0	△ 4,368,299	2,249,062	△ 2,119,237	△ 846,854	0	△ 846,854	4,147,869	0	5,251,325
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,500,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,083,801
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,583,801
III 正味財産期末残高	0	0	0	△ 4,368,299	2,249,062	△ 2,119,237	△ 846,854	0	△ 846,854	4,147,869	0	5,251,325

付属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び注記5「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略いたします。

2. 引当金の明細

該当ありません。

財産目録
令和7年12月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管		125,600	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 1口座	口座番号0121634	1,459,259	
	立替金		備品代として	82,665	
流動資産合計				1,667,524	
(固定資産)	特定資産	定期預金	湘南信用金庫 (口座番号2141111)	公益目的事業積立資産として	584,761
		定期預金	湘南信用金庫 (口座番号2141130)	60周年事業積立資産として	400,000
その他の固定資産	定期預金 JCLルーム保証金 電話加入権	湘南信用金庫 (口座番号2141120)	積み立て資産として	1,519,040	
			事務局保証金	936,000	
			事務局電話加入権	144,000	
固定資産合計				3,583,801	
資産合計				5,251,325	
(流動負債)	該当事項なし			0	
流動負債合計				0	
負債合計				0	
正味財産合計				5,251,325	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理によっております。

(2) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引によるリース資産については、リース契約 1 件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引等少額のリース資産や、リース期間が1年以内のリース取引を除き、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 会計方針の変更

(1) 採用する会計基準の変更

該当年度より、「公益法人会計基準」(最終改正令和2年5月15日 内閣府公益認定当委員会)を採用しています。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産				
公益目的事業積立資産(定期預金)	584,761	0	0	584,761
60周年事業積立資産(定期預金)	400,000	0	0	400,000
合計	984,761	0	0	984,761

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
特定資産				
公益目的事業積立資産(定期預金)	584,761	984,761	0	0
60周年事業積立資産(定期預金)	400,000	984,761	0	0
	984,761	1,969,522	0	0

6. 担保に供している財産

該当ありません。

7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当ありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

9. 保証債務(保証債務を主たる目的事業としている場合を除く)等の偶発債務

該当ありません。

10. 満期保有の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当ありません。

11. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

該当ありません。

12. 基金及び代替基金の増減及びその残高

該当ありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当ありません。

14. 関連当事者との取引の内容

該当ありません。

15. 重要な後発事象

該当ありません。

16. リース取引関係

該当ありません。

17. その他

当法人は、神奈川県より平成23年12月12日付(神奈川県指令商企第48号)を以て公益社団法人として認定を受け、平成23年12月16日より公益社団法人茅ヶ崎青年会議所に移行しております。

各公益事業及び法人会計への共通経費按分比率算定表

公1：まちへの誇りと愛情を育む事業（公益事業）

公2：おもいやりの精神を育む事業（公益事業）

公3：青少年育成事業（公益事業）

公4：まちづくり事業（公益事業）

法人会計：事業以外の会計

共益事業：公益事業に該当しない事業

事業区分・事業名は仮置き

事業区分	事業名	総務広報委員会		渉外委員会		地域経済開発委員会		地域のリーダー開発委員会		合計	
		割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
公1			0		0		0		0	0.0%	0.0
公2			0		0		0		0	0.0%	0.0
公3			0		0		0		0	0.0%	0.0
公4	1月例会（新年式典）	46%	3		0		0		0	66.7%	20.0
	2月例会		0		0		0	40%	3		
	4月例会		0		0		0	40%	3		
	5月例会		0		0	50%	4		0		
	8月例会						0	20%	1		
	10月例会					50%	4				
	浜降祭		0	33%	2		0		0		
法人会計	HP管理等	8%	1		0		0		0	33.3%	10.0
共益事業	3月例会（総会）	8%	1		0		0		0		
	6月例会		0	67%	3		0		0		
	7月例会	8%	1		0		0		0		
	9月例会	8%	1		0		0		0		
	9月市民討議会	8%	1		0		0		0		
	11月例会（総会）	8%	1		0		0		0		
12月例会第一部（卒業式）	8%	1		0		0		0			
	合計	100.0%	10	100.0%	5	100.0%	8	100%	7	100%	30.0

シートの説明

- ・各委員会の合計人数を記入する。
- ・各委員会が実施する各事業の割合を記入する。
- ・端数が出た場合は実人数にするため調整

監査報告書

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
理事長 羽場 大祐 殿

令和8年1月10日
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所

監事 金子 遥 
監事 柳 晴太郎 

私たち監事は、令和7年1月1日から令和7年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びにその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整理を努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従って、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及びに損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 2026年度 組織図

